2018.6-19

ダイロートン

システム天井

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

オフィスなどの騒音を軽減。
仕事に集中しやすい音環境をサポートします。

日本のオフィス天井に「音の快適さ」と、工事のメリット（スピード・シンプル）をご提案します。

格子状や線状にTバーを構成し、天井材を組み込むシステム天井は、施工が容易で、短工期と工事経費の削減を実現します。
さらに室内レイアウトのフレキシブルさや、保守点検の簡便さなどのメリットも生み出します。
またオフィスでは、電話の着信音や話し声、プリンターなどの機器、エアコンの空調など様々な騒音があふれています。
静かで快適な作業環境を実現するために、DAIKEN は、
とくに吸音性に優れた天井材ダイロートンをご提案。
仕事への集中力を高め、業務の効率を上げる重要な要素として、「音の快適さ」に着目し、
更なるシステム天井のプラス・メリットをご提案します。

システム天井が生み出す3つのメリット。

スピード施工

ジョイント部が差込み式のTバーを設置し、天井材や設備機器を組み込むシンプルな工法により、天井工事及び設備工事の施工スピードが速く、工期の短縮が図れます。

シンプルな工程

規格化された部材・仕上材の使用により、工事管理がしやすくなります。付帯工事の取り合いの煩雑さが解消され、安定した工程を組むことができます。

コスト削減

標準化されたモジュールにより、部材のロスが低減。また不要材・廃材の発生も大幅に減少するなど、諸経費の節減による全体のコストダウンが図れます。

システム天井の3つのタイプ。

クロスシリーズ

グリッドタイプ

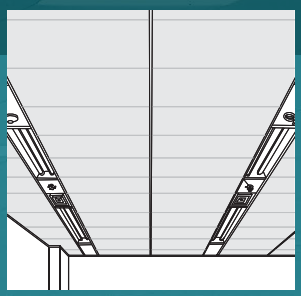
Tバーでグリッド（格子）を構成し、ダイロートンや照明・設備機器などを落とし込む工法です。施工性が向上し、工期の短縮が図れます。天井材の4辺をTバーに乗せこんでいるため、落下しにくく耐震性にも優れています。

▶ P.8~

ラインシリーズ

ラインタイプ

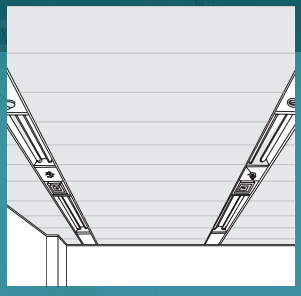
Tバーを同一方向に組み、普通サイズ（長さ1,600 mm以下）のダイロートンを乗せる工法です。天井面に設置する照明・設備機器を設備ゾーンに集中させるので、施工の合理化と簡素化が図れます。



▶P.22~

長尺ラインタイプ

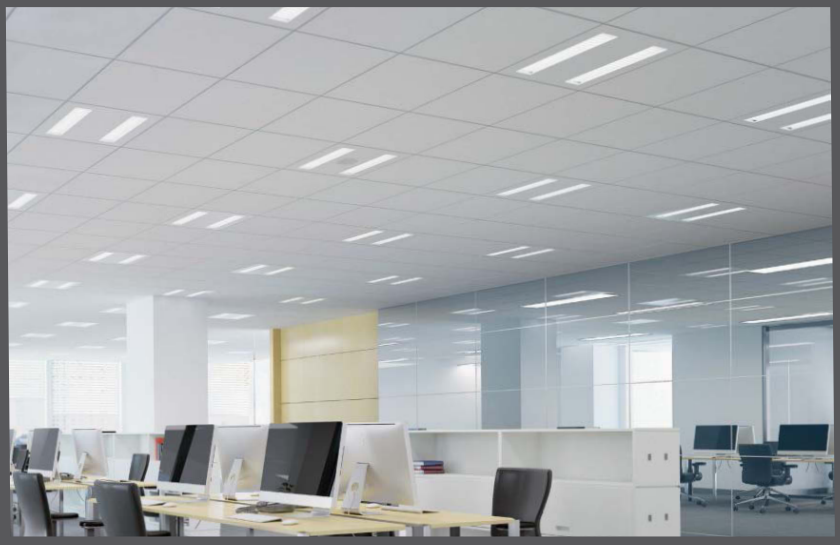
Tバーを同一方向に組み、長尺サイズ（長さ3,000 mm程度）のダイロートンを乗せる工法です。天井面の設備ゾーン間を一枚の天井材で仕上げるので、すっきり広々としたイメージに仕上がります



▶P.22~

施工性、吸音性などの機能性はもちろん、天井にす

システム天井クロスシリーズ



グリッドタイプ　UL-3500シリーズ

グリッドタイプ　NA-4000シリーズ

グリッドタイプ　UL-3500シリーズ

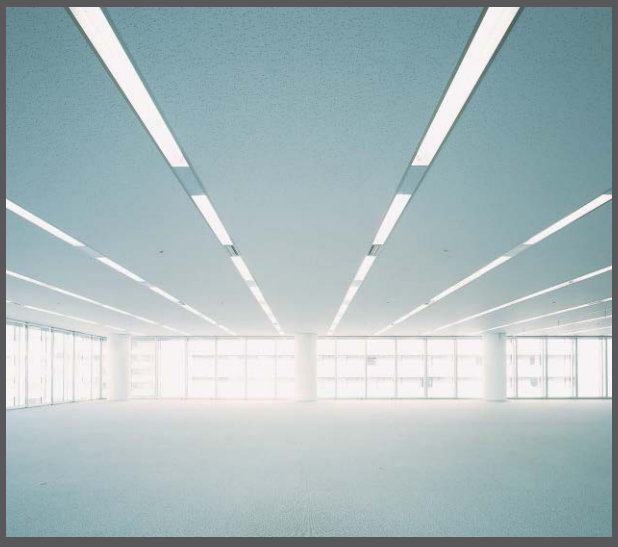
グリッドタイプ　UL-3500シリーズ

っきりとスマートな印象を生み出します。

システム天井ラインシリーズ

長尺ラインタイプ

ラインタイプ



長尺ラインタイプ

長尺ラインタイプ

空間演出のデザイン自由度を高め、装飾性や快適性

オフィス

（大建工業（株）大阪本社／中之島フェスティバルタワー・ウエスト）

受付

ダイロートン 15mmグリッド
＜NDF柄＞特注色

ワークスペース

ダイロートン 12mmグリッド
＜LV柄＞

オープンスペース

ダイロートン 12mmグリッド
＜LV柄＞

などに優れた効果を発揮します。

オフィス・教育施設

TBS 火曜ドラマ
「きみが心に棲みついた」セット

ダイロートン 15mmグリッド
<NDF柄>

山陽小野田市立山口東京理科大

ダイロートン 12mmグリッド
<LV柄>

ダイロートンの

施工についてのご注意

材料の保管
●ダイロートン及び施工金具などは、降雨や降雪、その吹込みによる冠水や湿潤の害を受けないように、常に乾燥していて、清潔で安全な環境下に保管してください。
●保管に当たっては、ダイロートンの隅や角、及び施工金具などが損傷しない様安全な場所を選び、壁面からは1m以上離してください。床には板又は防湿性のシートを敷き、その上に置くようにしてください。

運搬と取扱い
●運搬時に衝撃を受けたり、荷姿を崩すことの無いよう丁寧に扱ってください。
●油気、汚れなどの無い清潔な手(軍手使用等)で行ってください。

加　工
●ダイロートンの切断や穴あけ加工は必ず表面側から行ってください。切断面が不整になった場合、サンドペーパー等で平らに仕上げてください。

施工工事の環境
●ダイロートン施工時の周囲環境は、相対湿度80%以下でなければなりません。多湿の場合、経時と共にダイロートンに垂れ下がり現象が発生します。又、スチール部材にサビの発生等も起こします。
工事中は定期的に湿度を測り、高湿になるような場合、速やかに出入り口などをビニルシート、その他で遮閉し、湿気を防ぐよう配慮ください。特に川べりなどで明け方霧が立ち込めるような環境にある場合、十分な注意が必要です。
●モルタルなどの左官工事は早めに完了させ、施工する室内を十分乾燥させてください。
●現場の防水、雨じまいが完全に行われ、換気・通風がよく、窓にはガラスがはめ込まれてから、施工ください。
●建築物が新しく、相当な湿気を持っている場合は、通風を良くし、壁面などに結露を起こしていないことを確認の上、施工してください。特に寒冷地などでは、暖房をこころがけることが必要です。

施　工
●設備機器の納まりについては、事前によく打ち合わせておいてください。
●配線、配管工事は、ダイロートンの施工前に完了していることが必要です。
●下地は施工前に十分点検し、蛇行、湾曲などが無いことを確認してください。
●同室内のダイロートン施工はできる限り続けて行い、残った部分については、日を置かずに施工してください。
長期間放置し施工されますと、ダイロートンが空気中の埃を吸着し、その部分の色が周囲に比べ変わって見えることがあります。

施工後の養生
●施工完了後は外気からの湿気を遮断し、結露は絶対起こさない様配慮ください。(特に夜間)
●空調設備機器の試運転では、急激な負荷を避けてください。
●長期間空室にするような場合、室内が高湿な状態とならない様適切な換気を行ってください。

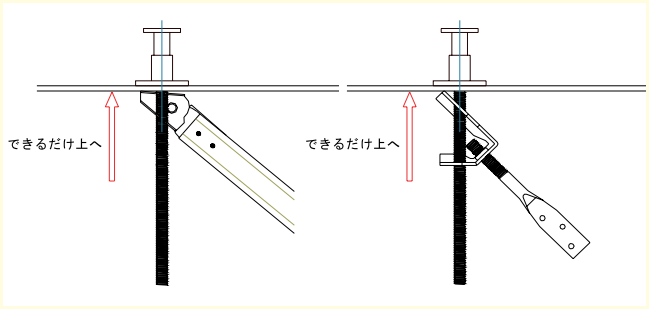
引渡し後の取扱いについて
●ダイロートンには、直接重量物を吊り下げず、下地材にしっかりと固定してください。破損及び落下の危険性があります。
●ダイロートンに画鋲やピンを刺さないでください。画鋲やピンを固定することはできませんので、落下する危険性があります。
●ダイロートンは柔らかい素材ですので、物をぶつけたりした場合、破損する恐れがあります。
●ダイロートンに粘着テープ(ガムテープ等)を貼らないでください。表面塗膜あるいは基材が剥がれることがあります。
●汚れた手や濡れた手でダイロートンの表面を触らないでください。表面に汚れや傷がつくことがあります。
●ダイロートン表面にマジックやボールペン等で線等を描かないでください。消すことができません。
●ダイロートンのお手入れははたき等でほこりを落としてください。ダイロートン表面を傷つけないようにご注意ください。また水や洗剤を含んだ雑巾等を使用された場合、ダイロートン表面が破損(傷等)する恐れがありますので、ご注意ください。
●水がかからないようにしてください。ダイロートンの表面が変色する恐れがあります。
●部屋の環境を長時間にわたり高温多湿にしないでください。カビやたわみ・目隙等が発生する恐れがあります。

耐震ブレースの設置は

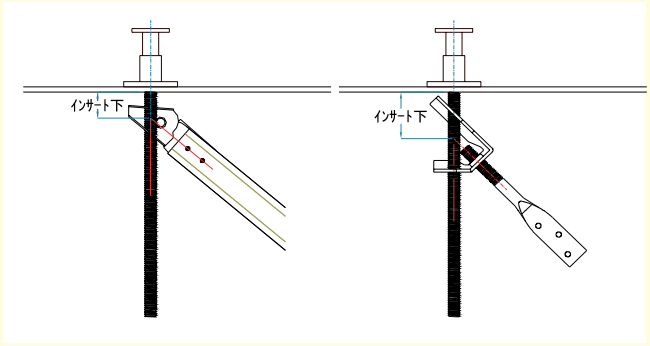
耐震ブレースは、必ず負担面積以内に設置してください。
システム天井工法共最大の負担面積は、18㎡以内としてください。
又、天井懐高さや天井の㎡重量によって、ブレース材の耐力を計算し、使用するブレース材を選定いただく必要があります。
詳しくは、ロックウール工業会HP中の
2016年3月制定「システム天井 グリッドタイプ 耐震基準」(2016年版)を参照ください。

耐震ブレースの設置にあたって
参考図の如く、耐震ブレース設置にあたっては吊りボルトへの取付け位置に配慮いただく必要があります。
ブレース材はブレース金物を利用し、コンクリートスラブ、デッキプレートを問わず、できるだけ上部に取り付けていただくことをお願いいたします。

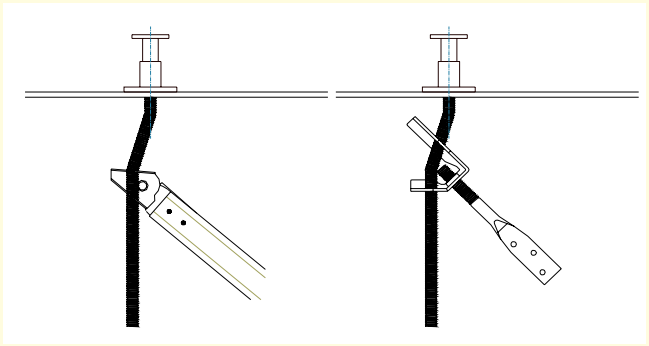
参考図



取付位置は可能な限り上へ



インサート下部よりの寸法 10㎜以内推奨


取付位置が低いと水平力入力時、早い段階で吊りボルトが座屈を起こします。
従って、天井の水平方向変位量が大きくなります。

システム天井材の施工後の塗装は、経時と共に板の垂れ下がり現象を起こしますので、施工された状態での塗装は避けてください。

シンプルでスピーディな施工を実現。
耐震性にも優れています。

システム天井クロスシリーズ

グリッドタイプ

Tバーを格子状に組み、天井材を落とし込む工法に対応しています。

INDEX

グリッドタイプ 特長 ····· P.9

ダイロートン・グリッド 15mm 品 ····· P.10

ダイロートン・グリッド 12mm 品 ····· P.11

UL-3500 シリーズ ····· P.13

NA-4000 シリーズ ····· P.15

標準構成部材歩掛表 ····· P.17

パーティション取付金具の取り付け要領 ····· P.17

水平加力試験と耐震仕様 ····· P.18

グリッドタイプ耐震ブレース配置参考例 ····· P.19

ブレースの納まり図 ····· P.20

グリッドタイプの施工要領と注意点 ····· P.21

グリッドタイプ 受

スチール製Tバーを格子に組み、ダイロートン・グリッドを落とし込む工法です。
この分野の世界的メーカーである米国CMC（CHICAGO METALLIC CORPORATION）より、Tバー材を輸入。
ロックウール化粧吸音板ダイロートン・グリッドと組み合わせることで、意匠性・耐震性に優れた次世代システム天井ができあがります。
パーティション、照明器具の配置等、個々のテナントのニーズに柔軟に対応することが可能です。
グリッドのサイズは640mm角と600mm角の2サイズ。
Tバー部分の仕上り外観の異なるUL-3500とNA-4000の2種類を用意しています。

●優れたメンテナンス性
ほとんどの天井板が点検口となり、天井裏の保守・点検等が容易です。
また、天井板を簡単に交換することができます。

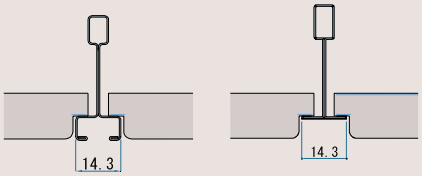
●優れた耐震性
天井板の4辺をTバーに乗せこんでいるため落下しにくく耐震性にも優れています。

●容易なレイアウト変更
照明器具などの移設・増設に柔軟に対応でき、最適な位置にパーティションの設置が可能です。

※当製品は室内専用です。軒天井など外部への使用はできません。

●工期短縮
Tバーの接続はワンタッチ接続。天井板は格子内に落とし込むだけの簡易工法で、工期を短縮できます。

●優れた意匠性
見付幅14.3㎜の細身のTバーを使用することで、Tバーを目立ちにくくし、シンプルかつシャープな天井面を実現しています。



UL-3500　　NA-4000

●2種類のディティール

	600グリッド	640グリッド
UL-3500	○	○
NA-4000	○	ー

[参考価格]

グリッド（スチールTバー）		¥8,000/m²
スチール廻縁	SL-2030	¥1,900/m

・Tバーは標準部材。天井内懐　H＜1,500㎜とし、吊りボルト及び負担面積 18㎡／対（XY両方向）のブレース材を含みます。

[備考]

・天井面積1,000㎡以上の平天井の参考材工設計価格です。
・上記価格は廻縁・ダクト補強及び、インサート打設工事は別途と致します。

グリッド用天井材

ダイロートン

15mmグリッド 受

万一の火災に強い不燃性と、居住性を高める断熱性・吸音性にすぐれた素材。
表面柄は無方向性のNDF柄とLG柄の2柄。明るくソフトな印象に仕上がります。

受 受注生産品

納期：受注後約30日
受注：1品種300㎡から

■ 性能マーク

無石綿 ロックウール

■ 公的認定・業界団体マーク

ホルムアルデヒド告示対象外製品 不燃

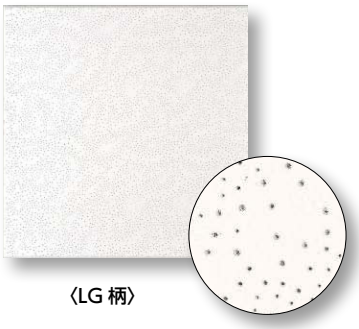
■ おすすめスペース

ビル 店舗

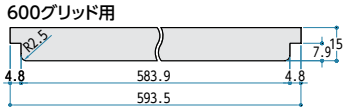
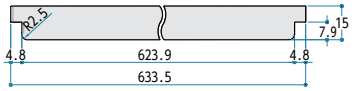
■ 製品仕様

ホルムアルデヒド規制：告示対象外製品
各種認定：国土交通大臣認定不燃材料 NM-8599
JIS A6301 ロックウール化粧吸音板
サイズ：600グリッド用 15mm厚 593.5×593.5mm
640グリッド用 15mm厚 633.5×633.5mm
梱包入数：600グリッド用 10枚・3.52m²入り
640グリッド用 10枚・4.01m²入り
重量：600グリッド用 16kg/梱(4.5kg/m²)
640グリッド用 18kg/梱(4.5kg/m²)
柄：NDF柄、LG柄
表面塗装色：白色塗装仕上げHN-95(N9.5)
〈一般社団法人日本塗料工業会2015年H版〉

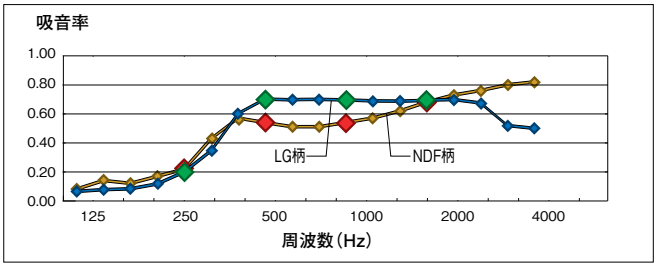
〈NDF柄〉



〈LG柄〉

エッジ形状・サイズ	シリーズ	柄名	品番	価格
600グリッド用 	UL-3500 NA-4000	〈NDF柄〉	TK2311-18 受	¥1,930/m² ¥6,800/梱
		〈LG柄〉	TK2322-18 受	
640グリッド用 	UL-3500	〈NDF柄〉	TK2311-28 受	¥1,930/m² ¥7,700/梱
		〈LG柄〉	TK2322-28 受	

■ 15mmグリッドの吸音性能（15×593.5×593.5mm）



吸音率 ＼ 周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	NRC
〈NDF柄〉	0.14	0.22	0.54	0.54	0.68	0.80	0.50
〈LG柄〉	0.07	0.20	0.72	0.71	0.70	0.59	0.58

測定機関：岡山県工業技術センター
測定方法：剛壁密着(背後空気層 0mm)

■ 15mmグリッドの音響透過損失

周波数(Hz)	R_I(dB)	周波数(Hz)	R_I(dB)
100	1.8	800	19.9
125	5.0	1000	21.3
160	8.5	1250	22.8
200	10.5	1600	24.5
250	12.1	2000	26.7
315	14.9	2500	27.8
400	15.0	3150	28.8
500	17.0	4000	30.2
630	18.3	5000	32.6

インテンシティ音響透過損失測定結果（NDF柄 15×593.5×593.5mm）

測定機関：岡山県工業技術センター
測定方法：音響インテンシティ法（残響室 ー 無響室）

■ 性能表

項目	密度	含水率	曲げ破壊荷重	熱抵抗	反射率	不燃性
単位	kg/m³	%	N	m²·K/W	%	ー
15mmグリッドの性能値	300	1.5	250	0.25	88	NM-8599
JIS A 6301 吸音材料規格値	500以下	3.0以下	90以上	ー	ー	ー

グリッドタイプ 受

グリッド用天井材

ダイロートン

12mmグリッド 受

従来のダイロートングリッドの厚さを
15mm→12mmとし軽量化した
(4.5kg/㎡→3.8kg/㎡)タイプです。

受 受注生産品

納期：受注後約30日
受注：1品種300㎡から

■ 性能マーク

無石綿 ロックウール

■ 公的認定・業界団体マーク

ホルムアルデヒド告示対象外製品 不燃

■ おすすめスペース

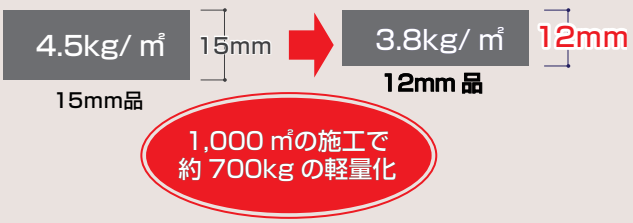
ビル 店舗

■ 製品仕様

ホルムアルデヒド規制：告示対象外製品
規　　格：国土交通大臣認定不燃材料　NM-8599
　　JIS A6301ロックウール化粧吸音板
　　(〈NDF柄／LG柄〉のみ)
サ イ ズ：〈NDF柄／LG柄〉
　　600グリッド用　12㎜厚 591.2×591.2㎜
　　640グリッド用　12㎜厚 631.2×631.2㎜
　　〈LV柄〉
　　600グリッド用　12㎜厚 590.5×590.5㎜
　　640グリッド用　12㎜厚 630.5×630.5㎜
入　　数：10枚/梱
梱 包 入 数：〈NDF柄／LG柄〉
　　600グリッド用　10枚・3.50㎡入り
　　640グリッド用　10枚・3.98㎡入り
　　〈LV柄〉
　　600グリッド用　10枚・3.49㎡入り
　　640グリッド用　10枚・3.98㎡入り
重　　量：600グリッド用　13.2kg/梱
　　640グリッド用　15.2kg/梱
表面塗装色：〈NDF柄／LG柄〉
　　白色塗装仕上げJN-95(N9.5)
　　〈LV柄〉
　　粒状白色塗装仕上げJN-95(N9.5)
＊一般財団法人日本塗料工業会2017年度J版

●軽量化で安全性向上

・軽量化(約15%)により、天井脱落の低減を図れます。
・ブレースの設置数を軽減できます。



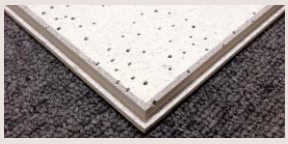
・天井が仮に落下しても人が受ける衝撃が軽減されます。

※国土交通省告示771号(特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件)第3の二、天井材の緊結において「グラスウール、ロックウール、その他の軟質な繊維状の材料からなる単位面積質量が4kg以下の天井板」は除外となっています。

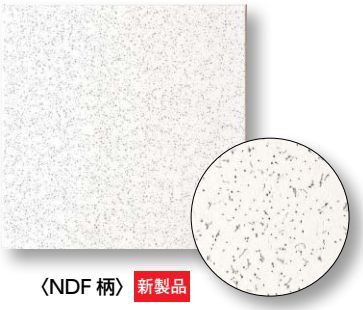
●メンテナンス性向上

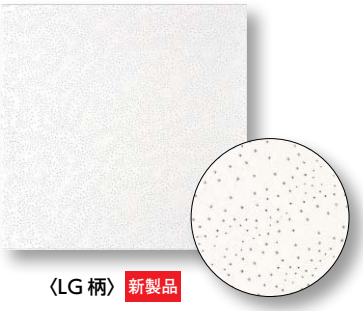
天井板の強度を高めたことで従来より、エッジが欠けにくく、さらに厚みと外周寸法を小さくしたことで、点検口として天井板が着脱しやすくなります。

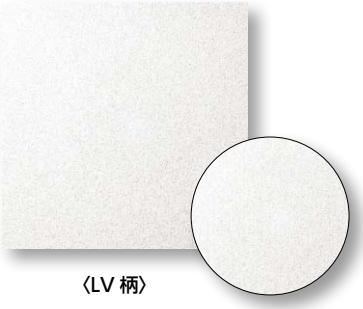
15mm品

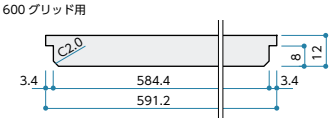
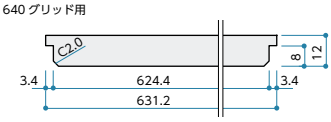
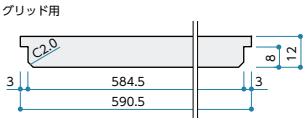
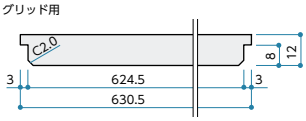

12mm品

グリッドタイプ

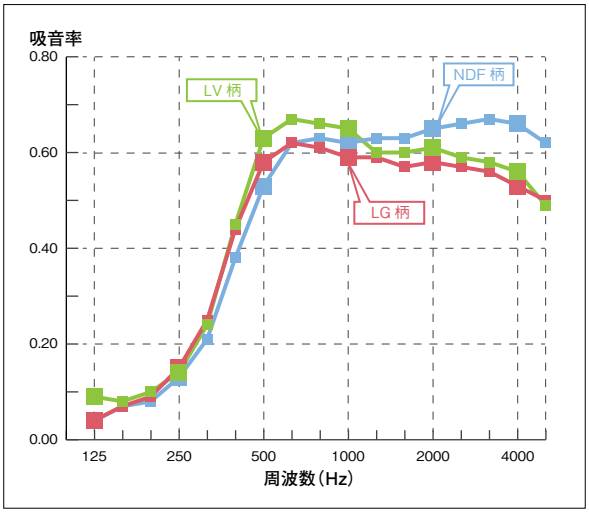

〈NDF 柄〉 新製品


〈LG 柄〉 新製品


〈LV 柄〉

エッジ形状・サイズ	シリーズ	柄名	品番	価格
600 グリッド用 	UL-3500 NA-4000	〈NDF 柄〉	TK2311-55 受	¥1,930/m² ¥6,720/梱
		〈LG 柄〉	TK2322-55 受	
640 グリッド用 	UL-3500	〈NDF 柄〉	TK2311-65 受	¥1,930/m² ¥7,660/梱
		〈LG 柄〉	TK2322-65 受	
600 グリッド用 	UL-3500 NA-4000	〈LV 柄〉	TK2333-79 受	¥1,930/m² ¥6,720/梱
640 グリッド用 	UL-3500	〈LV 柄〉	TK2333-89 受	¥1,930/m² ¥7,660/梱

■ ダイロートン12mmグリッドの吸音性能



吸音率 ＼ 周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	NRC
〈NDF 柄〉	0.04	0.13	0.53	0.62	0.65	0.66	0.48
〈LG 柄〉	0.04	0.15	0.58	0.59	0.58	0.53	0.48
〈LV 柄〉	0.09	0.14	0.63	0.65	0.61	0.56	0.51

測定機関：〈NDF 柄／LG 柄〉建材試験センター
〈LV 柄〉岡山県工業技術センター
測定方法：剛壁密着（背後空気層 0mm）

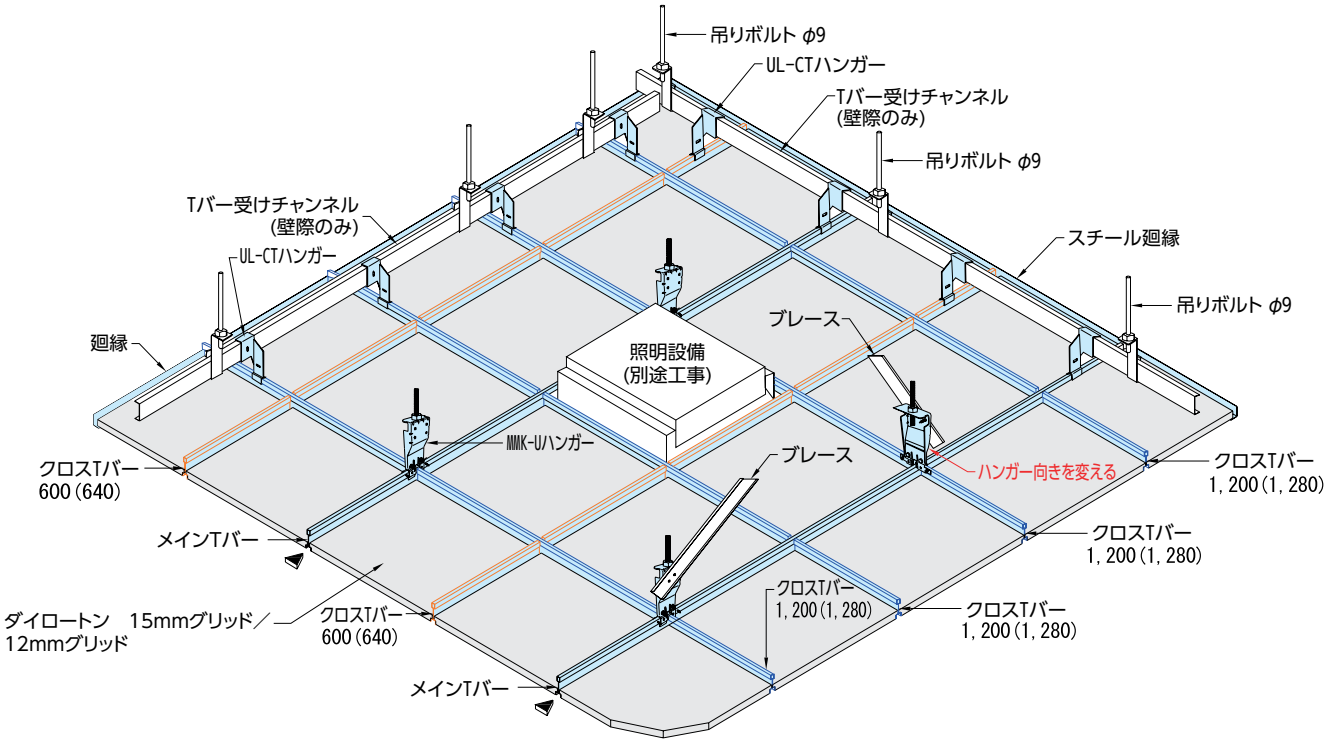
■ 性能表

項目	密度	含水率	曲げ破壊荷重	熱抵抗	反射率	不燃性
単位	kg/m³	%	N	m²·K/W	%	—
12 mm品の性能値	320	1.3	187	0.22	80	NM-8599
15 mm品の性能値	300	1.5	250	0.25	88	NM-8599
JIS A 6301 吸音材料規格値	500 以下	3.0 以下	60 以上(12mm品)	—	—	—

UL-3500 シリーズ

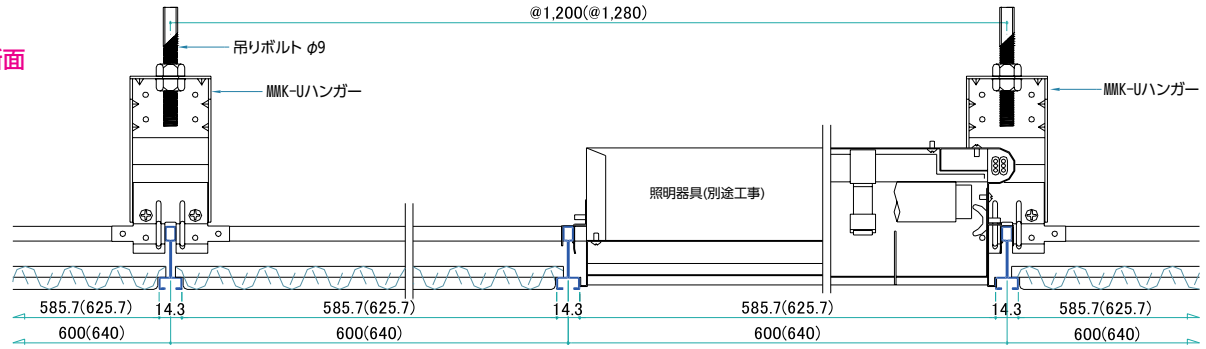
※寸法:600グリッド用(640グリッド用)

姿 図

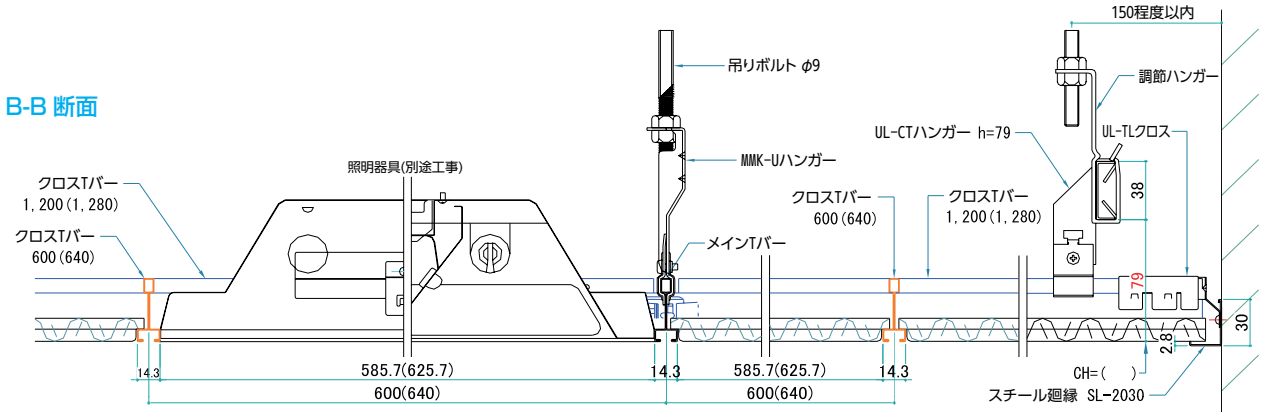


断面図(グリッド[15mm 品]の場合)

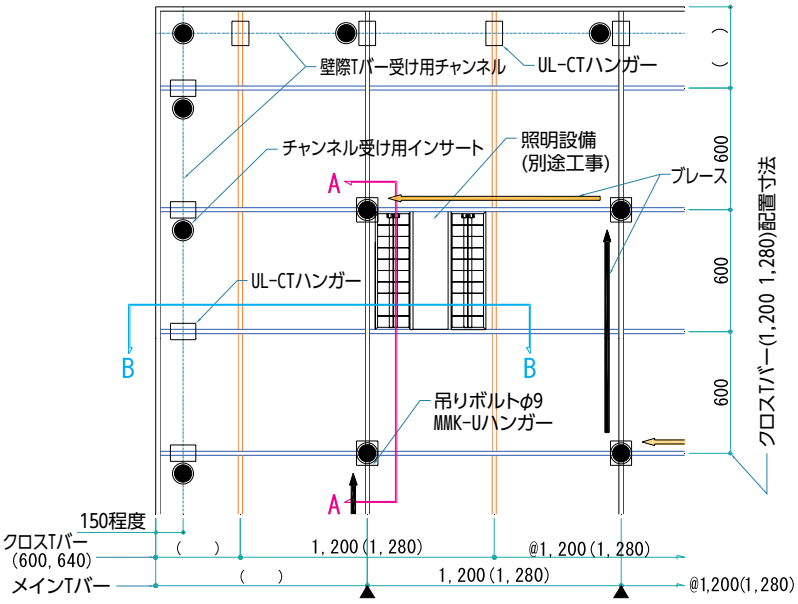
A-A 断面



B-B 断面



伏 図

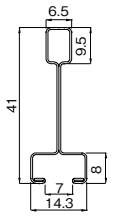


下地の基本配置

①メインTバーは、必ず吊りボルトから MMK-U ハンガーを利用して吊ってください。
600グリッド @1,200㎜×1,200㎜
640グリッド @1,280㎜×1,280㎜
②壁際のメインTバー及びクロスTバーはTバー受けチャンネルから、UL-CTハンガーで全数吊ってください。

主要部材

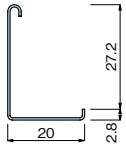
UL-3500 シリーズ メイン T バー クロス T バー



モジュール		寸 法	入数 (本 / 梱)	重量 (kg / 梱)
600 グリッド用	メイン T バー	ℓ=3,000	20	21
	クロス T バー	ℓ=1,200	40	17
	クロス T バー	ℓ= 600	70	15
640 グリッド用	メイン T バー	ℓ=3,200	20	22
	クロス T バー	ℓ=1,280	40	18
	クロス T バー	ℓ= 640	70	16

※梱単位の出荷になります。

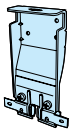
廻縁



SL-2030 ℓ=3,200

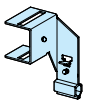
ハンガー

MMK-U ハンガー
銀色ネジ



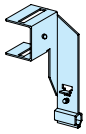
入数 120 ケ
重量 23kg

UL-CT ハンガー (h=79)
銀色ネジ (右・左) 図は右用



入数 170 ケ
重量 13.6kg

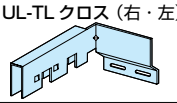
UL-CT ハンガー (h=117)
銀色ネジ (右・左) 図は右用



入数 110 ケ
重量 11kg

廻縁との接続金具

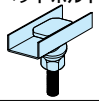
UL-TL クロス (右・左) 図は左用



入数 500 ケ
重量 9.5kg

パーティション取り付け金具

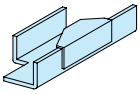
Tヘッドボルト(ボルト径はφ6)



入数 350 ケ
重量 7kg

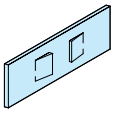
その他の金具

ノッチキャップ

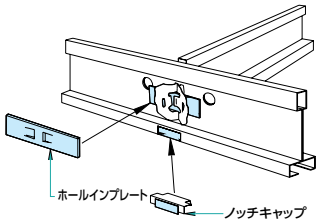


入数 2,000 ケ
重量 7kg

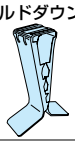
ホールインプレート



入数 2,000 ケ
重量 4kg



ホールドダウンクリップ

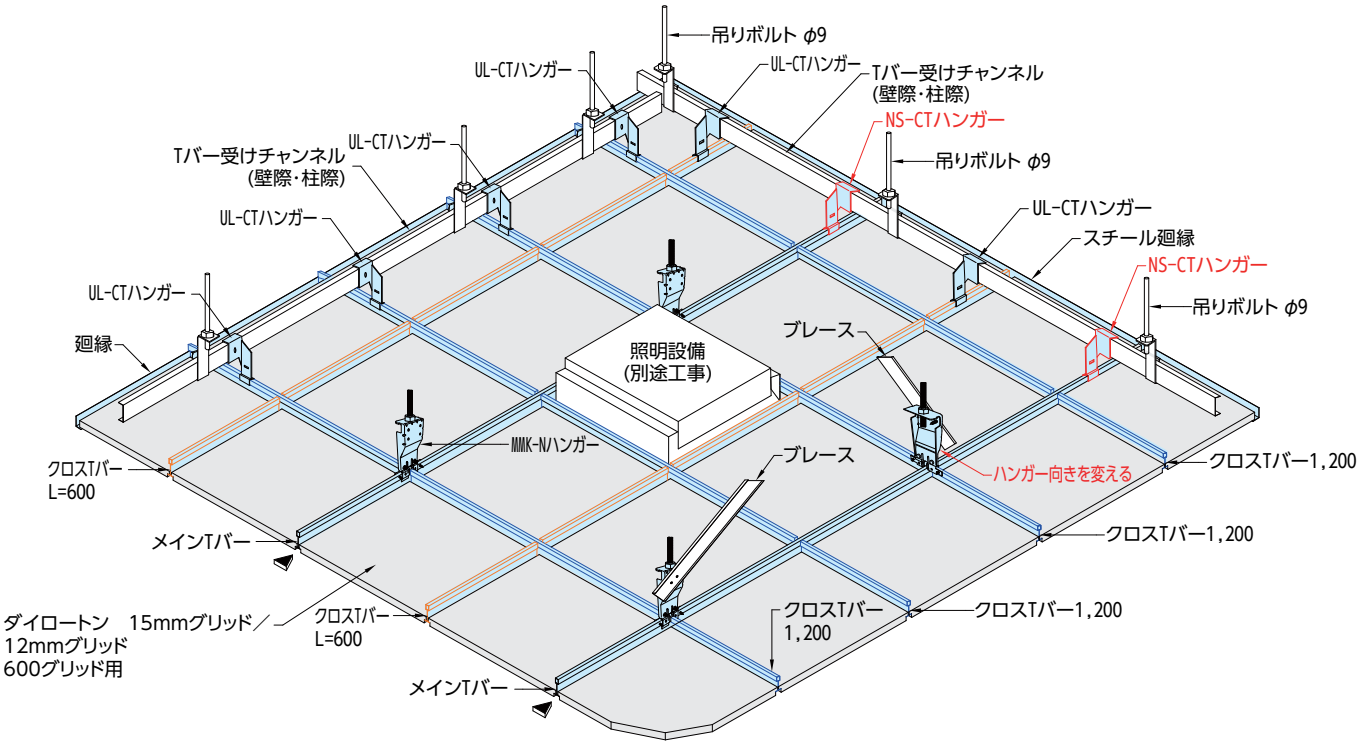


※天井板浮き上がり防止に使用します。

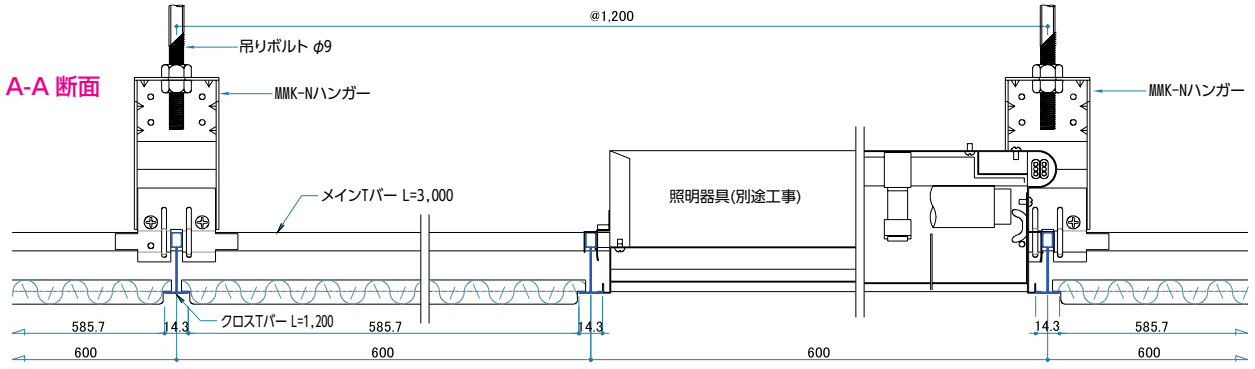
入数 1,000 ケ
重量 7kg

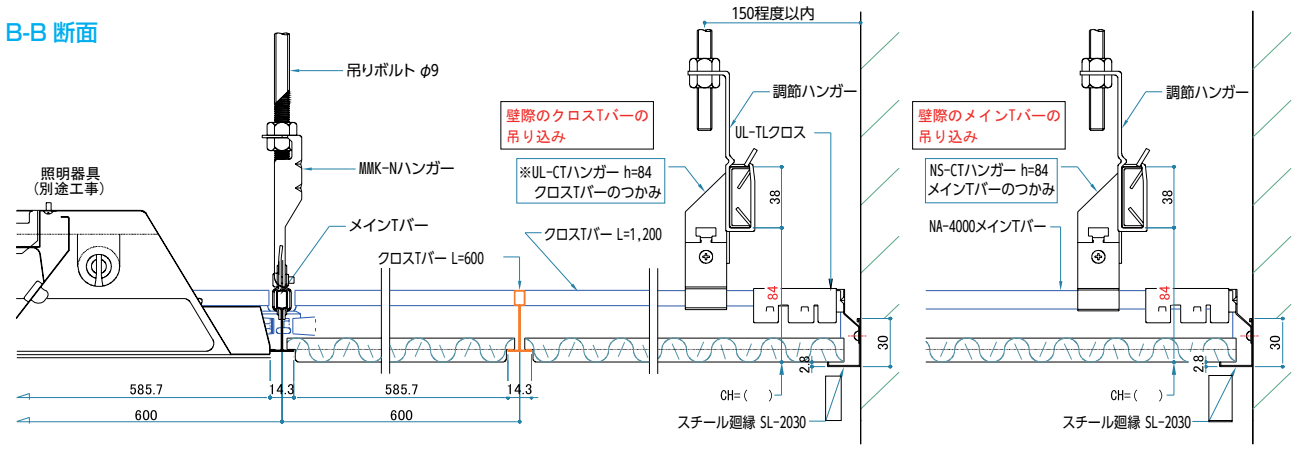
NA-4000 シリーズ

姿 図

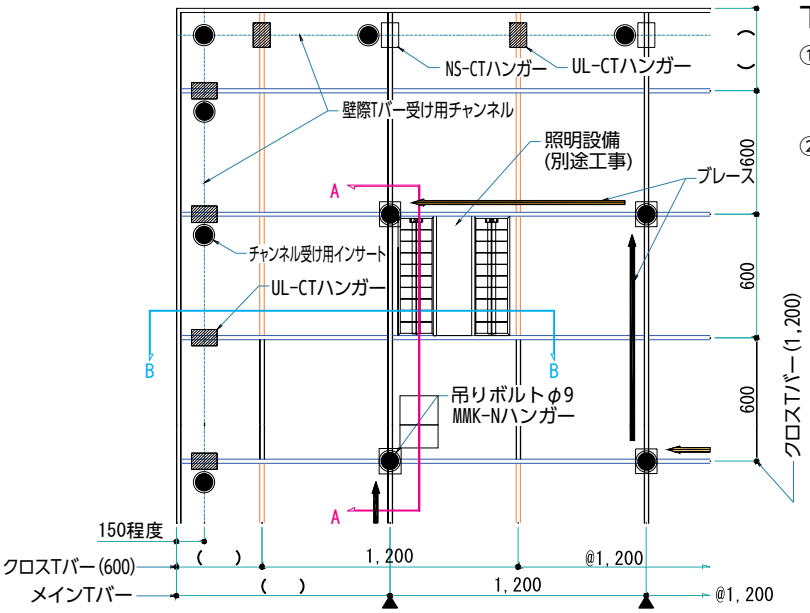


断面図（グリッド［15mm 品］の場合）





伏 図



下地の基本配置

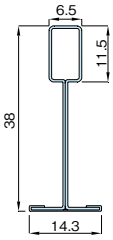
①メインTバーは、必ず吊りボルトからMMK-Nハンガーを利用して吊ってください。
600グリッド@1,200㎜×1,200㎜

②壁際のメインTバー及びクロスTバーはTバー受けチャンネルから、メインTバーはNS-CTハンガーで、クロスTバーはUL-CTハンガーで全数吊ってください。

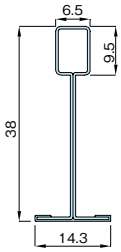
主要部材

NA-4000 シリーズ メインTバー クロスTバー

メインTバー
ℓ=3,000



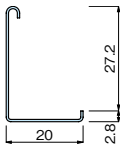
クロスTバー
ℓ=1,200
ℓ= 600



品名			寸 法	入数 (本 / 梱)	重量 (kg / 梱)
NA-4000	600 グリッド用	メインTバー	ℓ=3,000	20	22
		クロスTバー	ℓ=1,200	60	19
		クロスTバー	ℓ= 600	60	10

※梱単位の出荷になります。

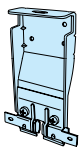
廻縁



SL-2030 ℓ=3,200

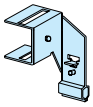
ハンガー

MMK-Nハンガー
金色ネジ



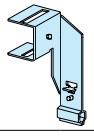
入数 120ケ
重量 23kg

NS-CTハンガー(h=84)
メインTバー用金色ネジ
(右・左) 図は右用



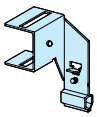
入数 170ケ
重量 13.6kg

NS-CTハンガー(h=122)
メインTバー用金色ネジ
(右・左) 図は右用



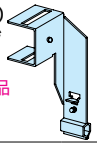
入数 110ケ
重量 11kg

UL-CTハンガー(h=84)
クロスTバー用銀色ネジ
(右・左) 図は右用
UL-CT (h=79)と同一品



入数 170ケ
重量 13.6kg

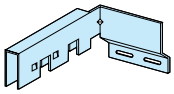
UL-CTハンガー(h=122)
クロスTバー用銀色ネジ
(右・左) 図は右用
UL-CT (h=117)と同一品



入数 110ケ
重量 11kg

廻縁との接続金具

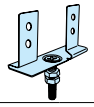
UL-TLクロス (右・左) 図は左用



入数 600ケ
重量 11kg

パーテション取り付け金具

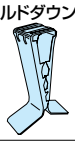
NA-Pクリップ (ボルト径φ4)



入数 500ケ
重量 7.5kg

その他の金具

ホールドダウンクリップ

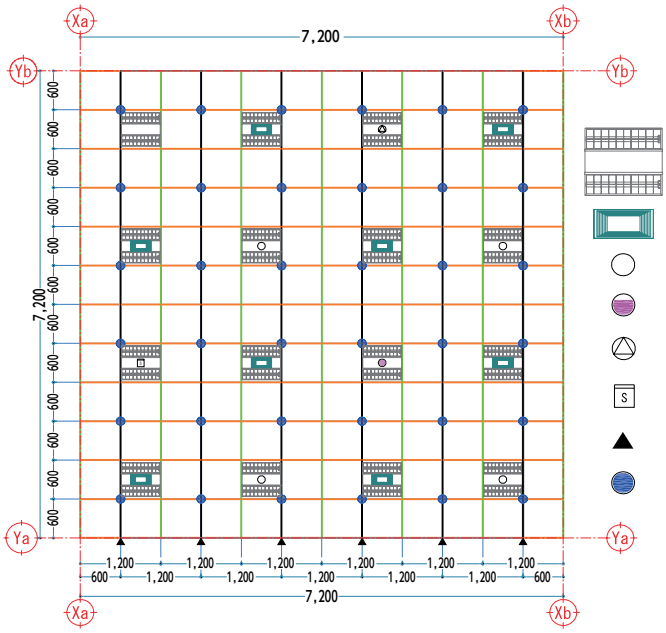


天井板浮き上がり防止に使用します。

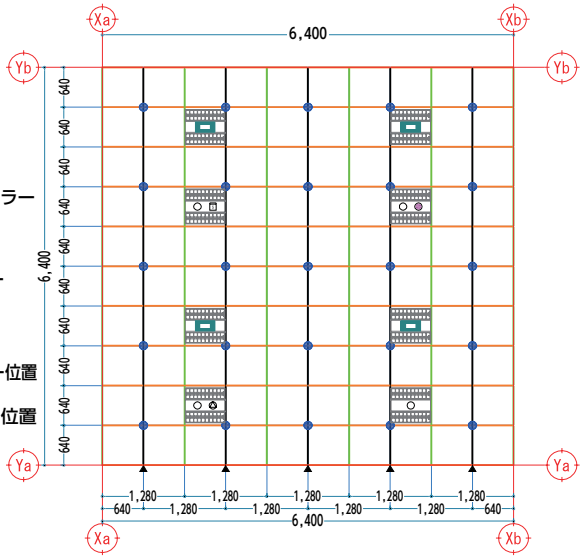
入数 1,000ケ
重量 7kg

標準構成部材歩掛表

600 グリッド



640 グリッド



〈参考〉UL-3500シリーズ 部材係数(㎡当たり)

寸法 / 部材名	600 グリッド		640 グリッド	
	必要数	参考重量	必要数	参考重量
メインTバー3000	0.28 本	0.26kg / ㎡	-	-
クロスTバー1200	1.39 本	0.50kg / ㎡	-	-
クロスTバー600	1.39 本	0.26kg / ㎡	-	-
メインTバー3200	-	-	0.25 本	0.24kg / ㎡
クロスTバー1280	-	-	1.23 本	0.24kg / ㎡
クロスTバー640	-	-	1.23 本	0.24kg / ㎡
MMK-Uハンガー	0.70 ケ	0.10kg / ㎡	0.61 ケ	0.10kg / ㎡
UL-CTハンガー	物件ごと	-	物件ごと	-
UL-TLクロス	物件ごと	-	物件ごと	-
ダイロートン　15mmグリッド	2.47 枚	4.5kg / ㎡	2.25 枚	4.5kg/ ㎡

〈参考〉NA-4000シリーズ 部材係数(㎡当たり)

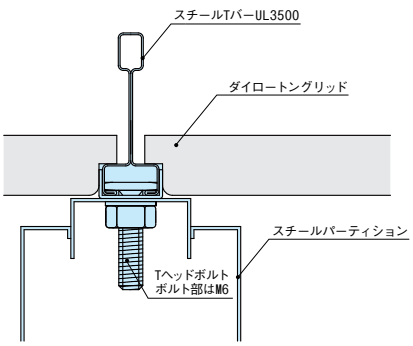
寸法 / 部材名	600 グリッド	
	必要数	参考重量
メインTバー3000	0.28 本	0.28kg / ㎡
クロスTバー1200	1.39 本	0.55kg / ㎡
クロスTバー600	1.39 本	0.22kg / ㎡
MMK-Nハンガー	0.70 ケ	0.10kg / ㎡
NS-CTハンガー	物件ごと	-
UL-CTハンガー	物件ごと	-
UL-TLクロス	物件ごと	-
ダイロートン　15mmグリッド	2.47 枚	4.5kg / ㎡

※上図に基づいた積算です。
数量にロスは含みません。

パーティション取付金具の取り付け要領

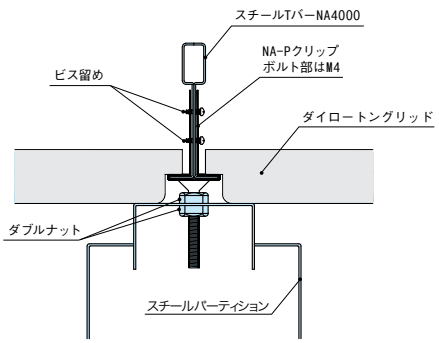
UL-3500シリーズでの取り付け(Tヘッドボルト)

Tバーの交点からTヘッドボルトを差し込みます。
@600mm(640mm)間隔の支持になります。



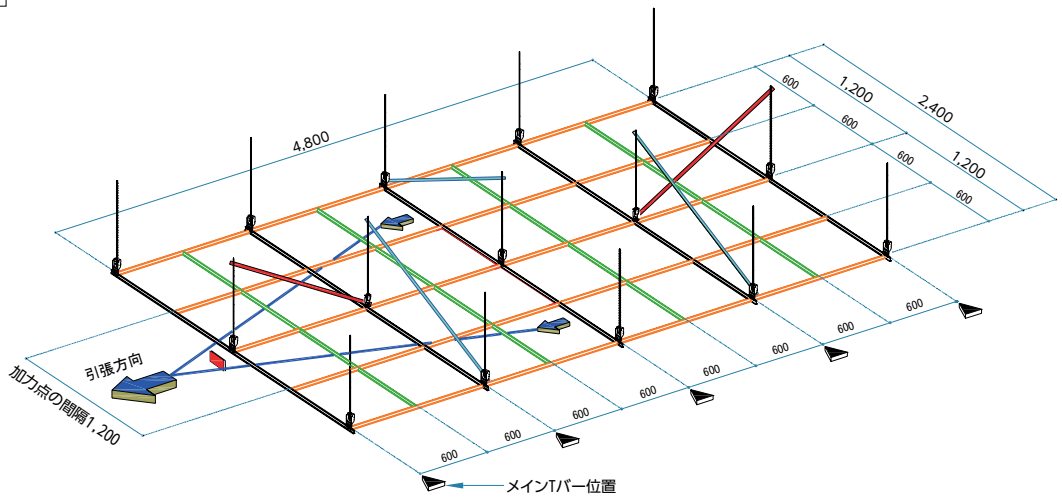
NA-4000シリーズでの取り付け(NA-Pクリップ)

NA-Pクリップを回転させて、Tバーにはめ込みます。
Tバーにタッピングビスで縫い付けます。
支持間隔は@600となります。



水平加力試験と耐震仕様

試験体



※「建築物における天井脱落対策に係る技術基準と解説」(国交省他)天井ユニット試験に準じた試験

UL-3500 シリーズの試験条件と結果

(A)天井懐	スラブ下	加力方向	ブレース材	ブレース配置	ブレース負担面積(一対)	変位量(1.52kN時)	変位量(1.59kN時)
① 1,010	50㎜	クロス	C-38×12×1.2	逆 ハ	18㎡	9.0㎜	9.9㎜
② 1,200	50㎜	クロス	C-25×19×5×1.0	逆 ハ	18㎡	9.5㎜	10.2㎜
③ 1,380	50㎜	クロス	C-25×19×5×1.0	逆 ハ	18㎡	13.5㎜	15.4㎜
④ 1,500	50㎜	クロス	C-40×20×1.6	逆 ハ	18㎡	11.9㎜	13.2㎜

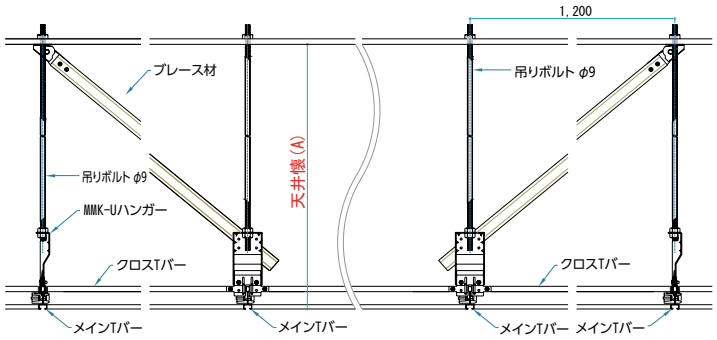
※自社測定値です。保証値ではありません。
※天井重量 8.6kg/㎡、ブレース負担面積 18㎡ / 対、水平入力加速度 1G(1.52kN) 時の変位量(1.59kN 時の変位量は、天井重量を 9kg /㎡とした時の数値です。)

参考重量 (600 グリッド 天井懐 1,200㎜ の場合の参考値)

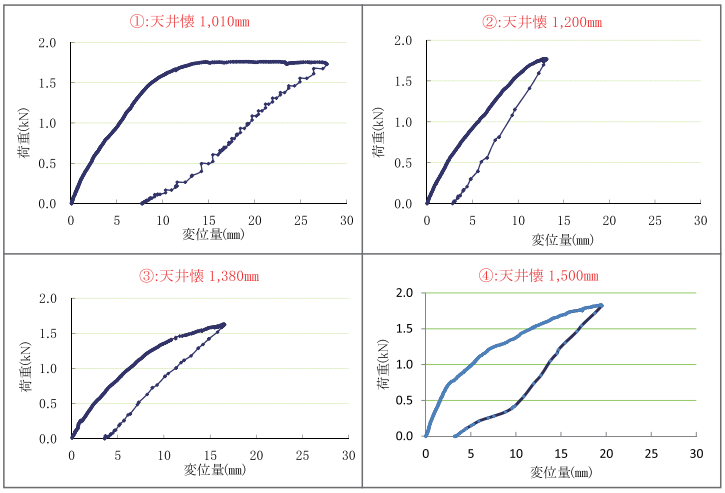
部位	内容	kg/㎡
下地材	吊ボルト、ナット、ハンガー、ブレース材等	0.5
部材	T バー	1.0
設備	照明器具、空調、スピーカー等	2.6
天井材	岩綿吸音板ダイロートン　15mm グリッド	4.5
計		8.6

※吊りボルト重量は 1/2 重量を加算しています。

UL-3500 シリーズの測定断面図

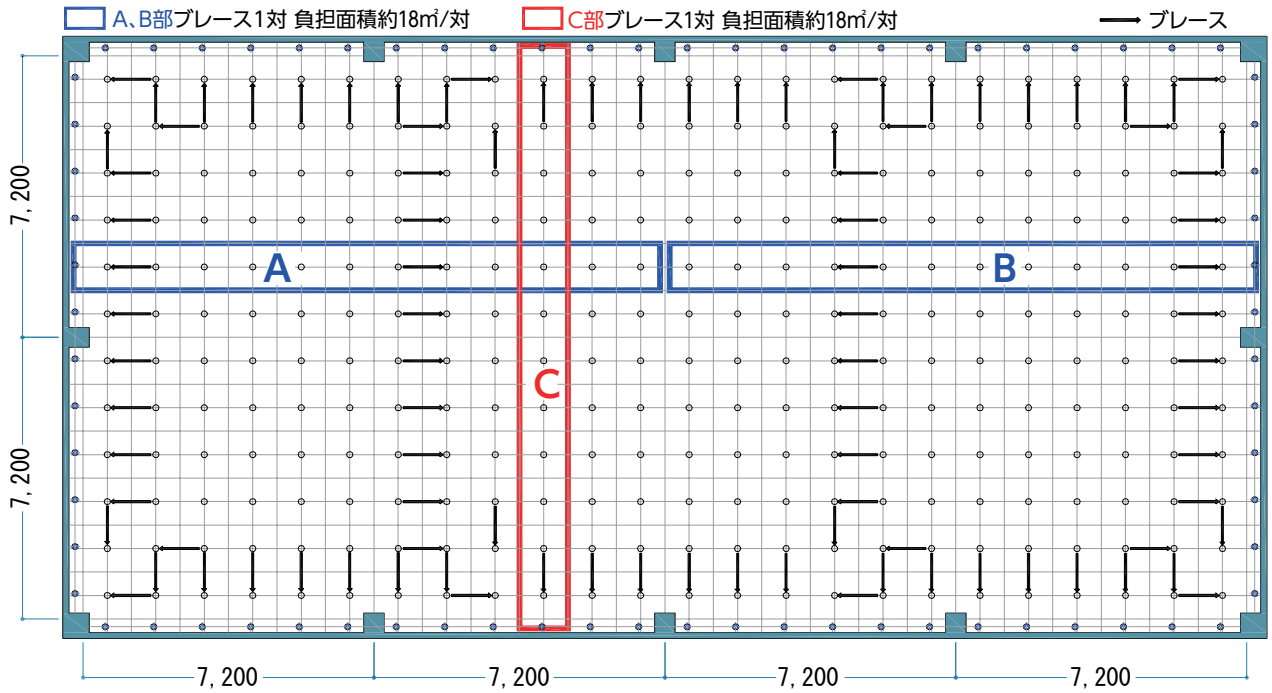


水平加力試験結果



水平加力試験の様子

グリッドタイプ耐震ブレース配置参考例



※この図はロックウール工業会システム天井耐震基準を参照しています。

ブレース材の選定例（グリッドタイプ６４０×６４０）

	斜めブレース材	吊ボルト圧縮補強材	適用する天井懐寸法
逆ハ	C38×12×1.2	□−19×19×1.2	814～1,790㎜
	C25×19×5×1.0		814～1,920㎜
	C40×20×10×1.6		814～2,000㎜
	C25×19×5×1.0		814～1,140㎜
	C40×20×1.6		814～1,300㎜
	C40×20×10×1.6		814～1,730㎜
	C60×30×10×1.6		814～2,000㎜
V字	C25×19×5×1.0		814～1,380㎜
	C40×20×1.6		814～1,680㎜
	C40×20×10×1.6		814～2,000㎜

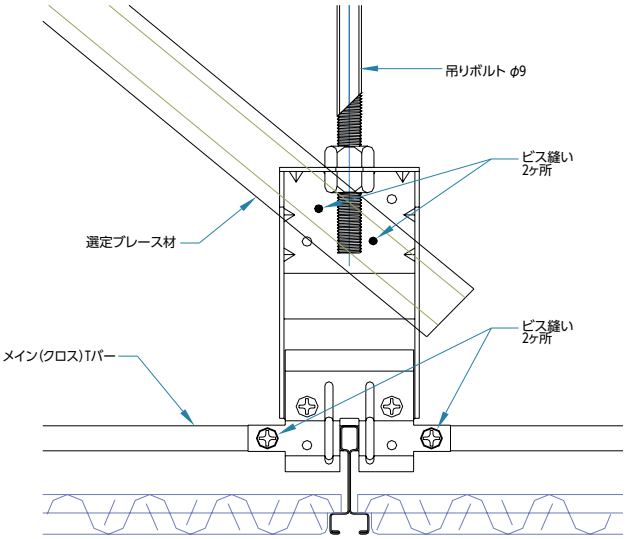
1）天井懐が2000㎜を超える場合は、構造計算を行い鉄骨組付けのぶどう棚を設置してください。
2）ブレースの材種は、18㎡/組　X・Y各方向の場合の例です。
3）懐H1500㎜を超える場合の水平振れ止めの設置については、監理者にご確認ください。
4）角度30°の場合の最小懐寸法：814㎜

耐震ブレース補強基準

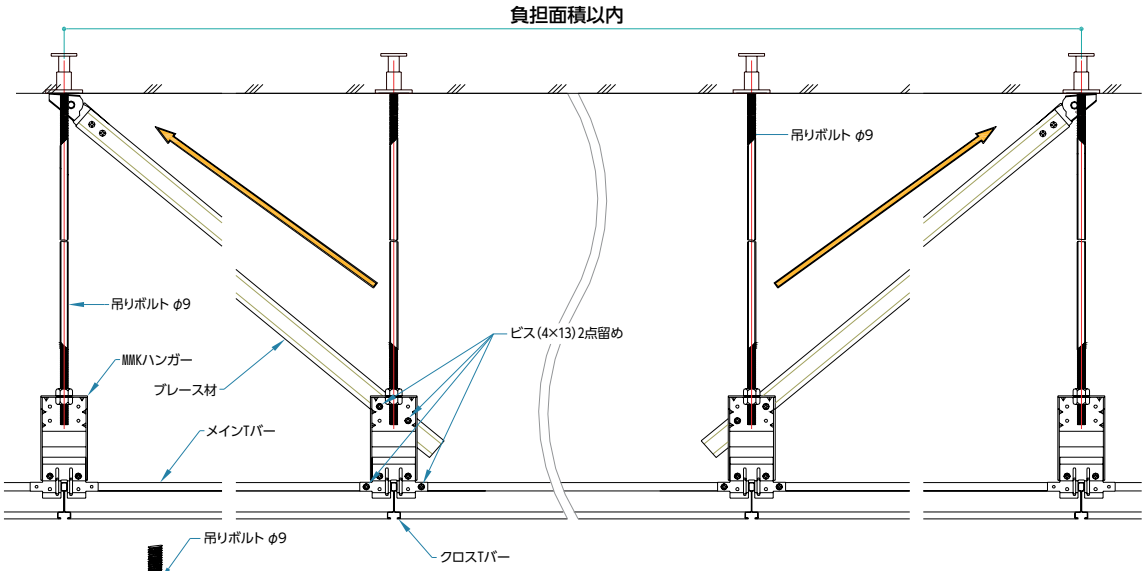
・天井水平入力加速度1G，天井鉛直入力加速度0.5Gのとき、ブレースは、18㎡以内にχ y方向に1対設置する。
・システム天井及び搭載設備の質量が10kg/㎡以外の場合は、ブレース1組の負担面積を換算して求める。
※国土交通省の「建築物における天井脱落対策に係る技術基準（2013年9月）」に準拠したものではありません。

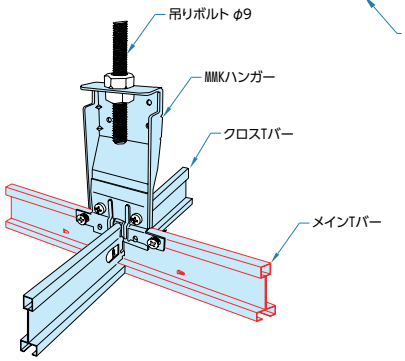
MMKハンガーへのブレース取り付け

・MMKハンガーへのブレース材取り付けは、ハンガー背にビス2本で縫い付けます。
・ブレース材を縫い付けたハンガーは、Tバーとビスにて2ヶ所縫い付け、スベリを防ぎます。



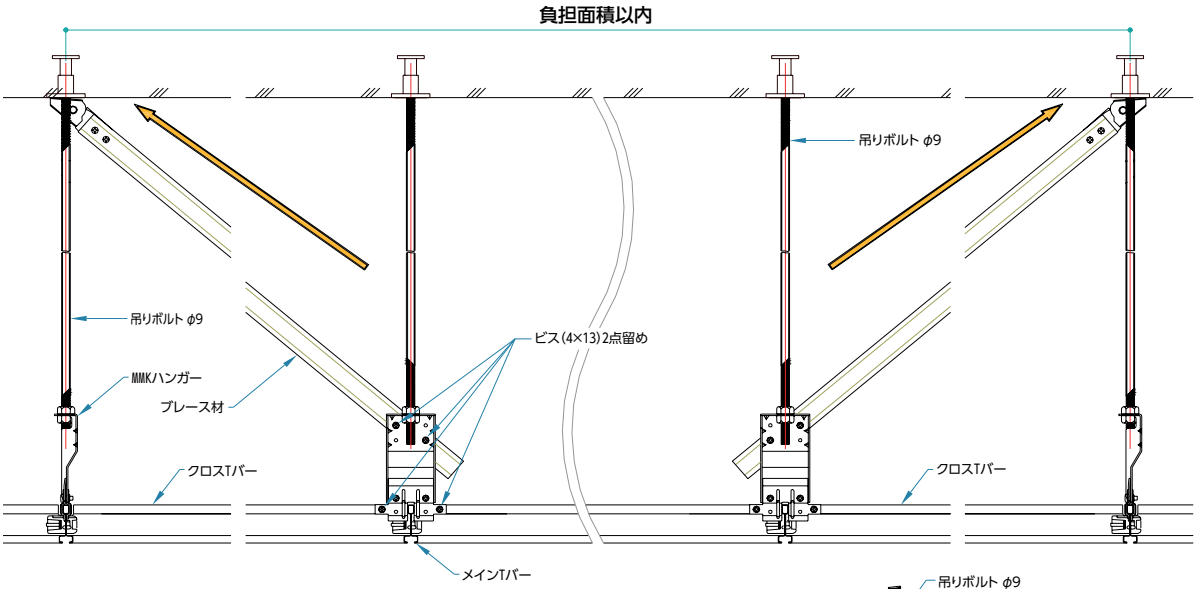
ブレースの納まり図　グリッドメインTバー方向

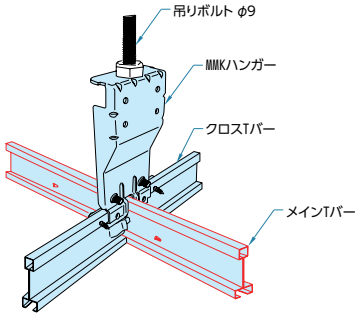




●ブレース補強は負担面積以内にχγ方向1対配置してください。
●ブレース補強は1,200㎜(1,280㎜)の間隔で均等に配置してください。

ブレースの納まり図　グリッドクロスTバー方向





ブレース縫い付け部ハンガーの向き

・クロスTバーにブレース材を縫い付けるハンガーは、ブレース材に平行となるよう向きを 90° 反転します。
ブレース金物や、ブレース材の取り付け方によって方向性が出ますので充分確認の上、取り付けるようにします。(UL・NA共通)

グリッドタイプの施工要領と注意点

1	別途先行工事	主な要領と注意点は次の通りです。 ・基準墨 (陸墨、返り墨) が所定の位置に出ているか確認をする。 ・壁面及び柱周りの仕上げは、天井仕上げ面より100㎜以上高く仕上げてあること。 ・吊元のインサートが、図面の通り打設されているか確認する。必要なところに無い場合、打増しを行ってもらう。
↓		
2	天井墨出し	
↓		
3	廻縁取り付け	
↓		
4	吊りボルトの取り付け	
↓		
5	壁際Ｔバー受けチャンネルの取り付け	
↓		
6	Ｔバーの取り付け	・水糸を張り、曲がりの無いようＴバーを施工し、水糸はそのまま残す。
↓		
7	レベルの調整	
↓		
8	耐震ブレースの取り付け	・図面通りに耐震ブレースを設置する。 18㎡以内 / 対を基本
↓		
9	中間検査	・図面通り耐震ブレースが設置されているかどうか確認する。
↓		
10	別途設備工事	
↓		
11	レベル及び通りの確認	・設備取り付け後、6で残した水糸との狂いを確認する。
↓		
12	ダイロートンの張り上げ	・製品裏面の矢印方向を合わせて施工する。
↓		
13	仕上がり状態の確認	
↓		
14	全体検査	

すっきりとした印象の天井面を実現。
施工合理化も図れます。

ラインタイプ
長尺ラインタイプ

システム天井ラインシリーズ

Tバーを同一方向に組み、天井材を載せる工法に対応しています。

INDEX

ラインタイプ・長尺ラインタイプ 特長 …… P.23
ダイロートン・トラバーチン／ワイドトラバーチン …… P.24
ラインタイプ …… P.25
長尺ラインタイプ …… P.27
スチールバー用部材 …… P.29
アルミバー用部材 …… P.33
点検口用材料（スチールバー、アルミバー共通） …… P.35
ラインシリーズ・ラインタイプ 参考歩掛表 …… P.36
各部詳細図 …… P.37
ラインシリーズの施工要領と注意点 …… P.41

ラインタイプ・長尺ラインタイプ

■ラインタイプ

アルミ製またはスチール製Tバーを同一方向に組み、普通サイズ（長さ1,600mm以下）のダイロートン（ワイドトラバーチンもしくはトラバーチン）をTバーに乗せるライン方式の工法です。照明器具と照明器具の間には2枚のダイロートンとTバーが入ります。

[シングルラインタイプ]

照明器具の両サイドのTバーが1本なので、すっきりした仕上がりです。

[ダブルラインタイプ]

照明器具の両サイドのTバーが2本になり、その隙間は空調などに使うので天井部分がすっきりします。

■長尺ラインタイプ

アルミ製またはスチール製Tバーを同一方向に組み、長尺サイズ（長さ3,000mm程度）のダイロートン（トラバーチン）をTバーに乗せる工法です。照明器具と照明器具の間は1枚のダイロートンで仕上げるので、すっきりした外観になります。

●スピード施工

天井工事及び付帯する設備工事の施工スピードアップが可能。工期の短縮が図れます。

●付帯工事の合理化

照明や空調など、天井の付帯工事の取り合いの煩雑さが解消され、安定した工程を組むことができます。

●コストダウンに貢献

モジュールの標準化により部材ロスや不要材・廃材の発生が少なく、諸経費の節減につながります。

[参考価格]

工法		アルミ	スチール
ラインタイプ 3.2M モジュール	シングル	￥8,200/㎡	￥7,800/㎡
	ダブル	￥9,300/㎡	￥8,700/㎡
長尺ラインタイプ 3.2M モジュール	シングル	￥8,400/㎡	￥8,000/㎡
	ダブル	￥9,500/㎡	￥8,900/㎡

スチール廻り縁	SL-2030	￥1,900/m
アルミ廻り縁	AL-2031	￥2,300/m
ラインタイプ点検口	￥16,000/ヶ所	
長尺ラインタイプ点検口	￥30,000/ヶ所	

[備考]

・天井面積 1,000㎡以上の平天井の参考材工設計価格です。
・岩綿吸音板の幅は400㎜、Tバーは標準部材、天井内懐 H ＜ 1500㎜とします。
・上記価格は設備プレート、ダクト補強及びインサート打設工事は別途と致します。
・ダブルライン内の目地カバー、レターンバッフル板は別途と致します。

ラインシリーズ用天井材

ダイロートン トラバーチン 受

システム天井ラインシリーズ
ラインタイプ/長尺ラインタイプ用

■ 性能マーク

無石綿 ロックウール

■ 公的認定・業界団体マーク

ホルムアルデヒド告示対象外製品 不燃

■ おすすめスペース

ビル 店舗

■ 製品仕様

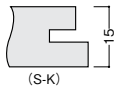
ホルムアルデヒド規制：告示対象外製品
各 種 認 定：国土交通大臣認定不燃材料 NM-8599
JIS A 6301 ロックウール化粧吸音板
サ イ ズ：厚さ15㎜ 幅300～450㎜ 長さ1,200～3,000㎜まで
表 面：白色塗装仕上げJN-95(N9.5)
<一般社団法人日本塗料工業会2017年J版>

受 受注生産品

納期:受注より工場出荷まで30日
受注: 1品種300㎡から

ラインシリーズ用天井材の縁形状

●縁形状
長辺:直角加工 (S-K)
短辺:切り放し



価格:¥2,230/㎡

入り数:長さ2,699㎜まで10枚/梱(重量約6kg /㎡)
長さ2,700㎜以上8枚/梱(重量約6kg /㎡)

※300㎡以下のご発注につきましては、下記の表をご参照ください。尚、在庫確認等は弊社までお問い合わせください。

仕様	品番	品目	サイズ (㎜)			入数 / 梱	ケース単価 (¥ / 梱)
			厚さ	幅	長さ		税抜
長辺： 直角加工＋カーフ溝 短辺： 切り放し	TK3936-20	15LF11 369×2000 SKH	15	369	2,000	10 枚 (7.4㎡)	16,800
	TK3937-20	15LF11 375×2000 SKH		375	2,000	10 枚 (7.5㎡)	16,800
	TK3937-30	15LF11 375×3000 SKH			3,000	8 枚 (9.0㎡)	20,100
	TK3939-15	15LF11 394×1500 SKH		394	1,500	10 枚 (5.9㎡)	13,400
	TK3939-18	15LF11 394×1800 SKH			1,800	10 枚 (7.1㎡)	16,100
	TK3939-20	15LF11 394×2000 SKH			2,000	10 枚 (7.9㎡)	17,900
	TK3940-15	15LF11 400×1500 SKH		400	1,500	10 枚 (6.0㎡)	13,400
	TK3940-18	15LF11 400×1800 SKH			1,800	10 枚 (7.2㎡)	16,100
	TK3940-22	15LF11 400×2200 SKH			2,200	10 枚 (8.8㎡)	19,700
	TK3940-30	15LF11 400×3000 SKH			3,000	8 枚 (9.6㎡)	21,400

ラインシリーズ用天井材

ダイロートン ワイドトラバーチン 受

システム天井ラインシリーズ･ラインタイプ用

■ 製品仕様

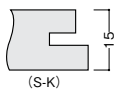
ホルムアルデヒド規制：告示対象外製品
各 種 認 定：国土交通大臣認定不燃材料NM-8599
JIS A 6301 ロックウール化粧吸音板
サ イ ズ：厚さ15㎜ 幅451～550㎜ 長さ1,600㎜以下
表 面：白色塗装仕上げJN-95(N9.5)
<一般社団法人日本塗料工業会2017年J版>

受 受注生産品

納期:受注より工場出荷まで30日
受注: 1品種300㎡から

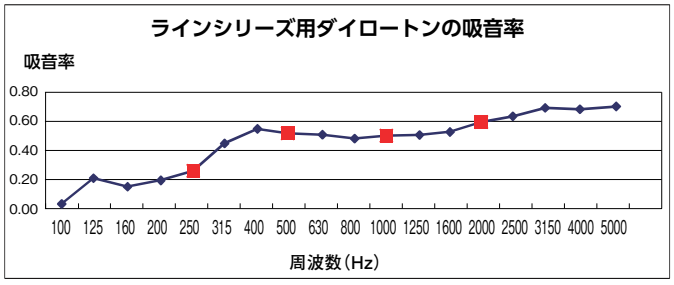
ラインシリーズ用天井材の縁形状

●縁形状
長辺:直角加工 (S-K)
短辺:切り放し



価格:¥2,650/㎡

入り数:10枚/梱(重量約6kg /㎡)



吸音率 ＼ 周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	NRC
ダイロートントラバーチン	0.20	0.26	0.56	0.51	0.59	0.68	0.48

測定機関：岡山県工業技術センター
測定方法：剛壁密着(背後空気層 0㎜)

■ダイロートンの性能表

項目	密度	含水率	曲げ破壊荷重	熱抵抗	反射率	不燃性
単位	kg/m³	%	N	m²·K/W	%	―
ラインシリーズ用ダイロートンの性能値	380	1.5	250	0.25	88	NM-8599
JIS A 6301 吸音材料規格値	500以下	3.0以下	90以上	―	―	―

ラインタイプ 受

シングルラインタイプ
ダブルラインタイプ

アルミ製またはスチール製Tバーを同一方向に組み、普通サイズ（長さ1,600㎜ 以下）のダイロートン（ワイドトラバーチンもしくはトラバーチン）をTバーにのせるライン方式の工法です。
照明器具と照明器具との間には、2枚のダイロートンとTバーが入ります。

価格

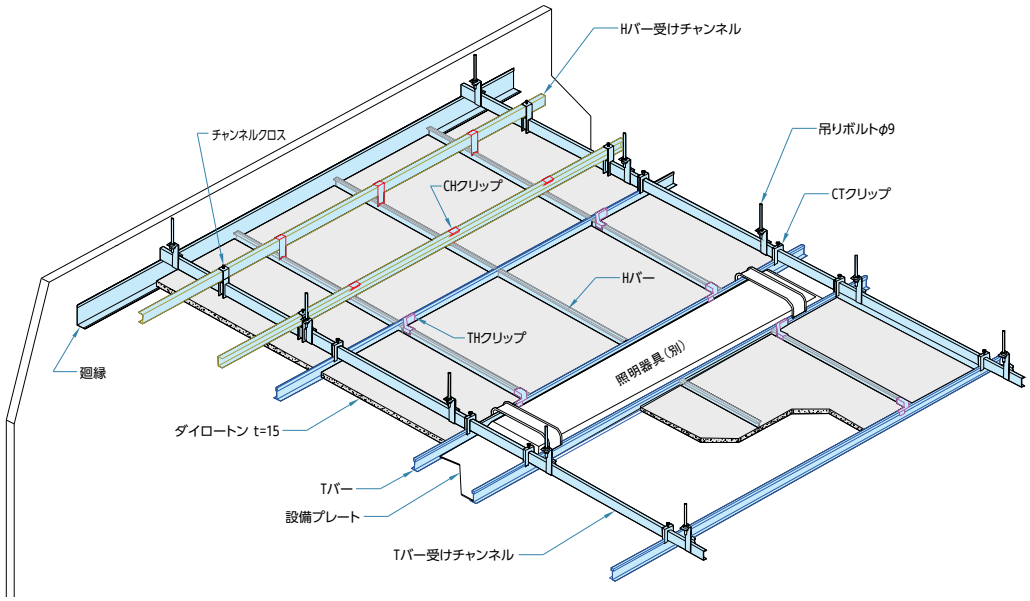
工法		アルミ	スチール
ラインタイプ 3.2M モジュール	シングル	￥8,200/㎡	￥7,800/㎡
	ダブル	￥9,300/㎡	￥8,700/㎡

スチール廻り縁	SL-2030	￥1,900/m
アルミ廻り縁	AL-2031	￥2,300/m
ラインタイプ点検口	￥16,000/ヶ所	

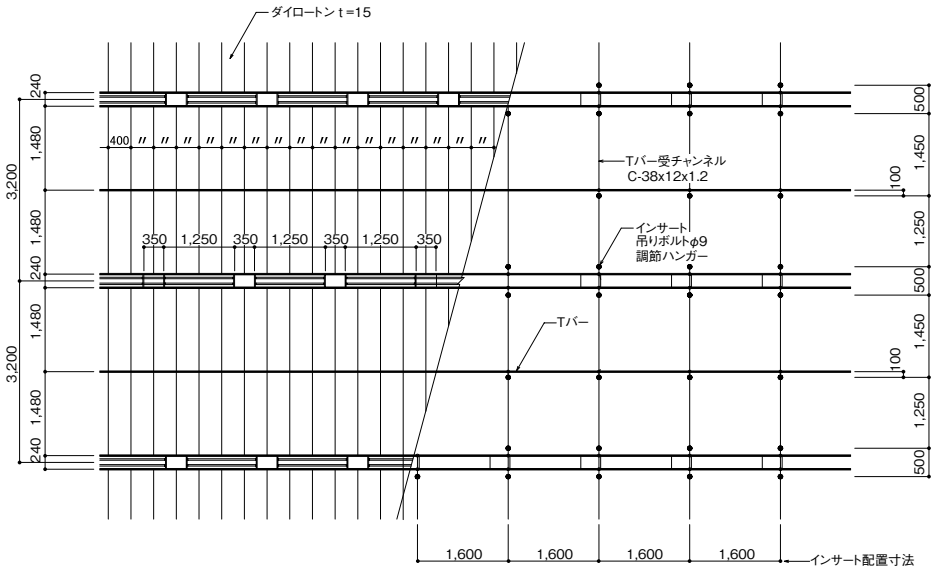
[備考]

・天井面積 1,000㎡以上の平天井の参考材工設計価格です。
・岩綿吸音板の幅は400㎜、Tバーは標準部材、天井内懐 H＜1500㎜とします。
・上記価格は設備プレート、ダクト補強及びインサート打設工事は別途と致します。
・ダブルライン内の目地カバー、レターンバッフル板は別途と致します。

姿　図

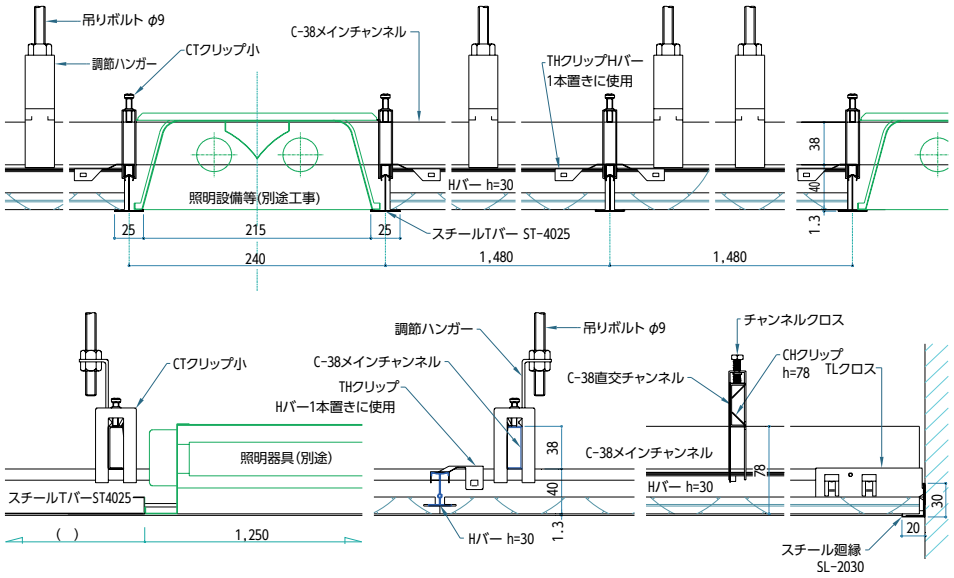


伏　図

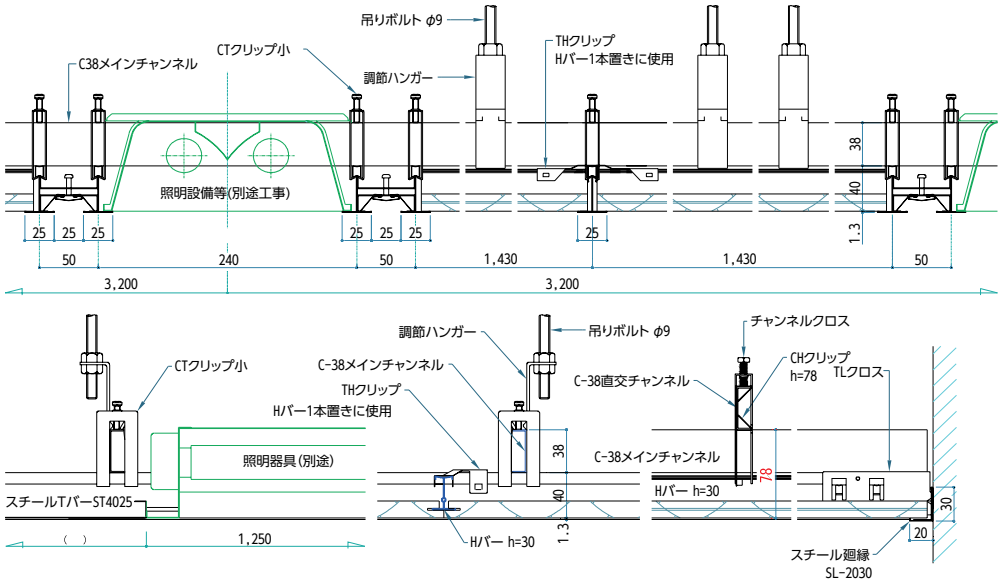


断面図

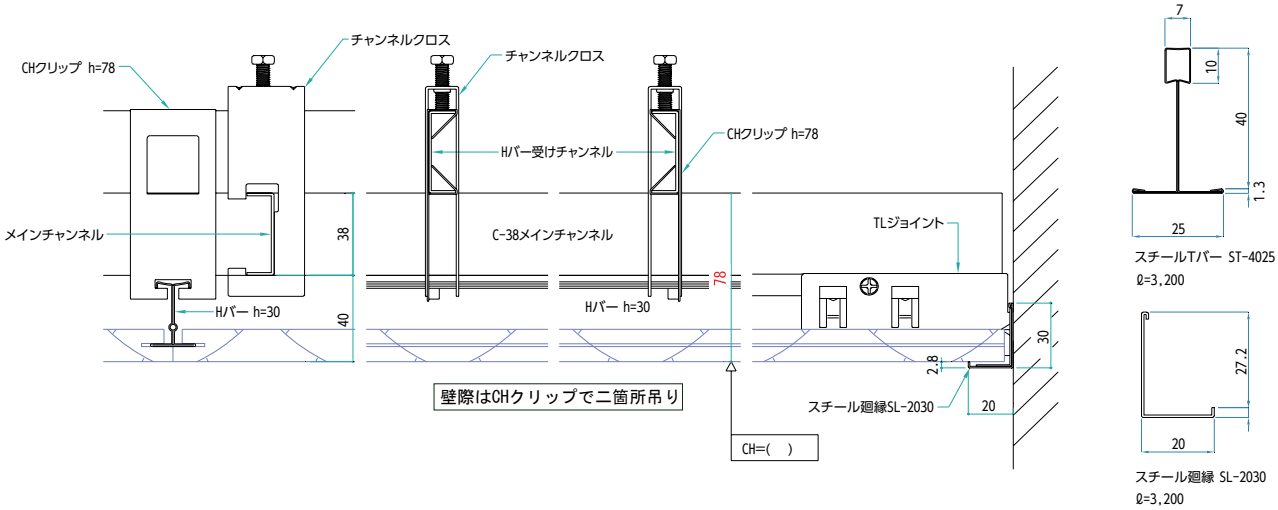
シングルタイプ



ダブルタイプ



壁際納まり



長尺ラインタイプ 受

シングルラインタイプ
ダブルラインタイプ

価格

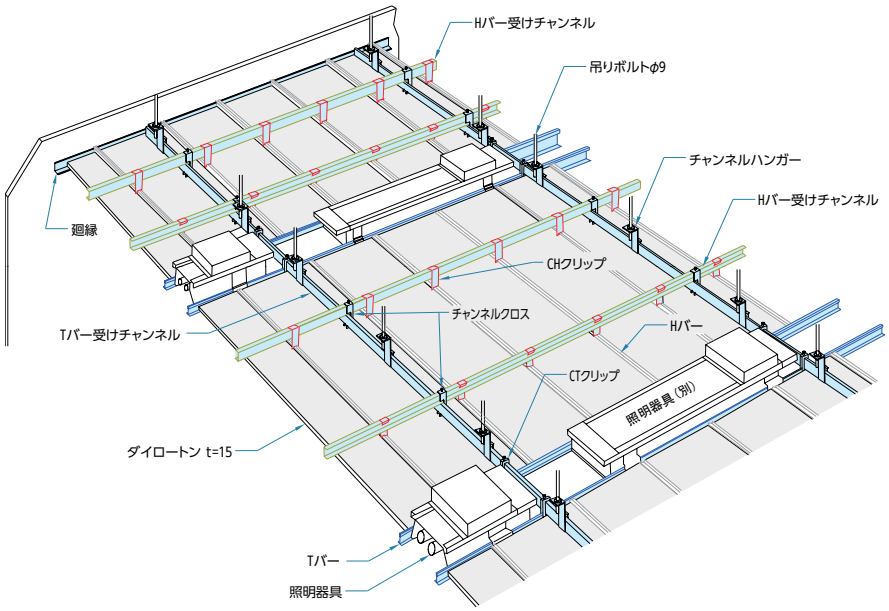
工法		アルミ	スチール
長尺ラインタイプ 3.2M モジュール	シングル	￥8,400/㎡	￥8,000/㎡
	ダブル	￥9,500/㎡	￥8,900/㎡

スチール廻り縁	SL-2030	￥1,900/m
アルミ廻り縁	AL-2031	￥2,300/m
長尺ラインタイプ点検口	￥30,000/ヶ所	

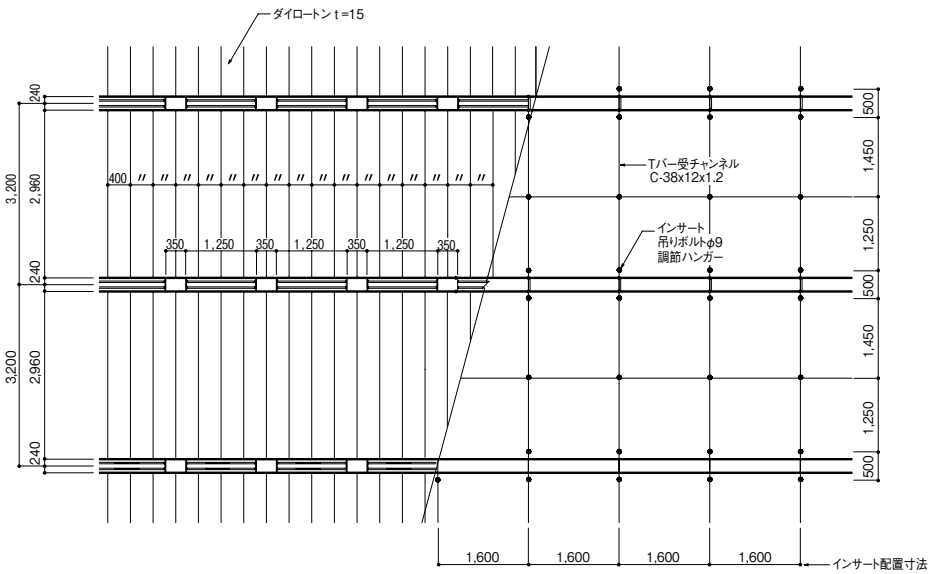
[備考]

・天井面積1,000㎡以上の平天井の参考材工設計価格です。
・岩綿吸音板の幅は400㎜、Tバーは標準部材、天井内懐H＜1500㎜とします。
・上記価格は設備プレート、ダクト補強及びインサート打設工事は別途と致します。
・ダブルライン内の目地カバー、レターンバッフル板は別途と致します。

姿　図

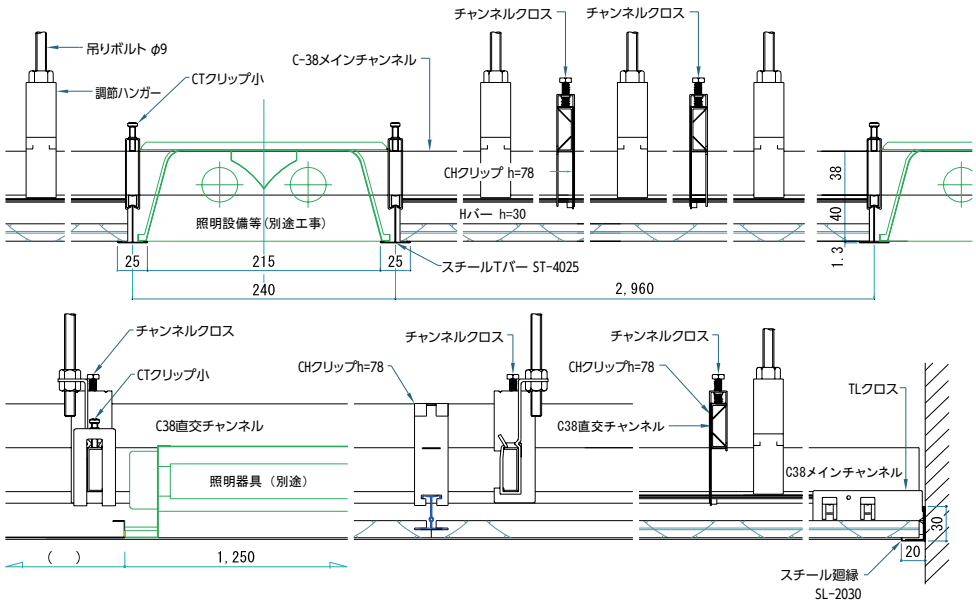


伏　図

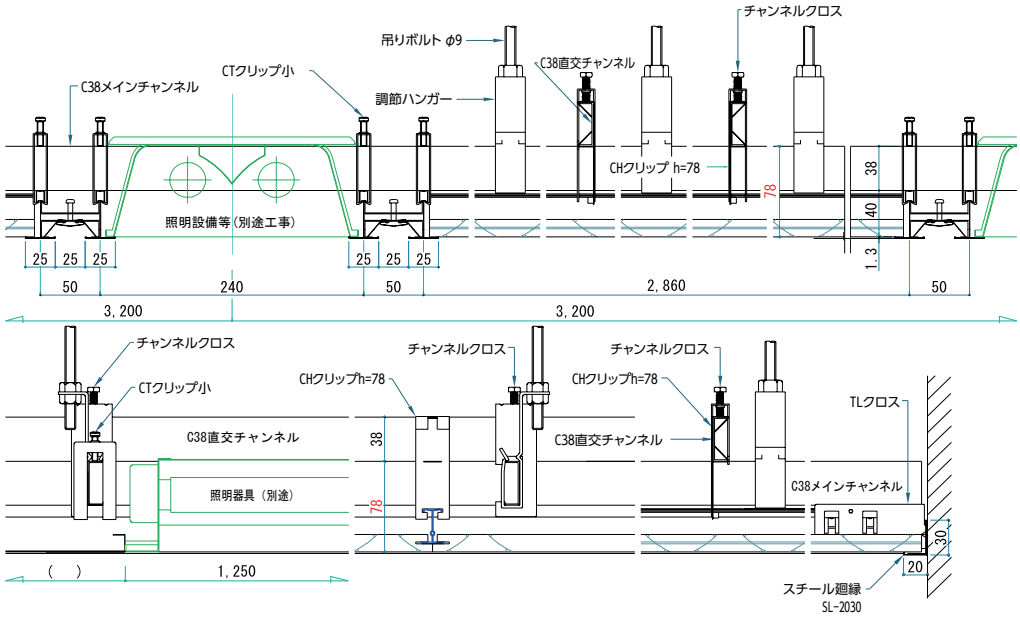


断面図

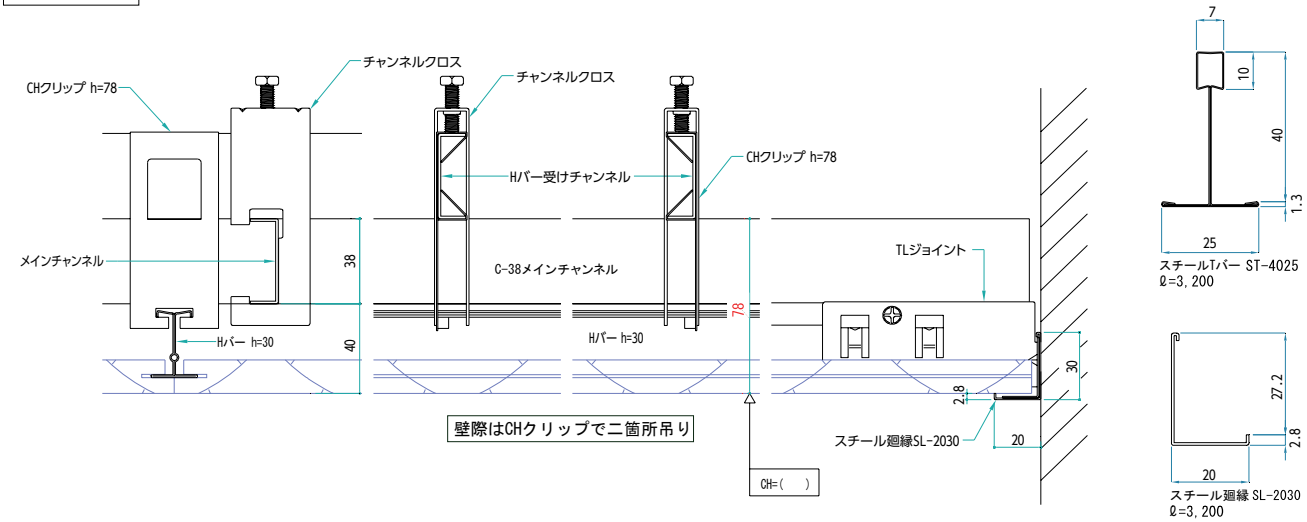
シングルタイプ



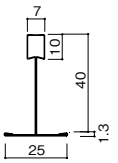
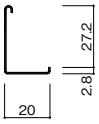
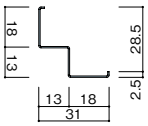
ダブルタイプ



壁際納まり

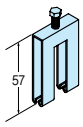
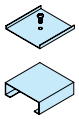
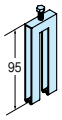
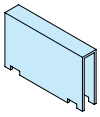


スチールTバー用部材

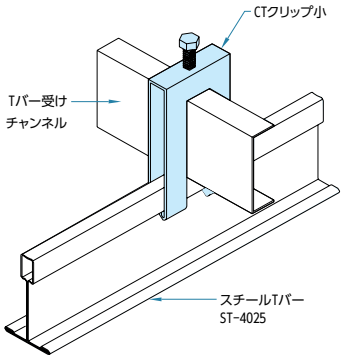
品名	材質	長さ	形状・名称
Tバー	スチール	3,200	ST-4025 
廻縁	スチール	3,200	SL-2030 
			SL-3131 

※Tバーは、直接続ジョイント付き

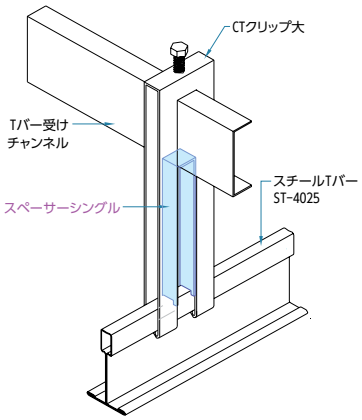
部材名称	Hバー
姿図	
長さ	ℓ=3,000
材質	亜鉛メッキ鋼板
備考	天井板の接続用

部材名称	CTクリップ小	TTスペーサー	CTクリップ大	スペーサーシングル	スペーサーダブル
姿図					
サイズ	h=57 （チャンネル下端h=40）	Tバー芯々=50 ℓ=50	h=95 （チャンネル下端h=78）	チャンネル下端h=78	チャンル下端h=78 Tバー芯々50㎜
材質	亜鉛メッキ鋼板	スチール黒色塗装	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板
備考	Tバー受チャンネルと Tバー（ST-4025）接続用	ダブルTバーのスペーサー	Tバー受チャンネルと Tバー（ST-4025）接続用	Tバー（ST-4025）と CTクリップ大接続用の スペーサー	ST-4025のダブルTバー組みと CTクリップ大接続用の スペーサー

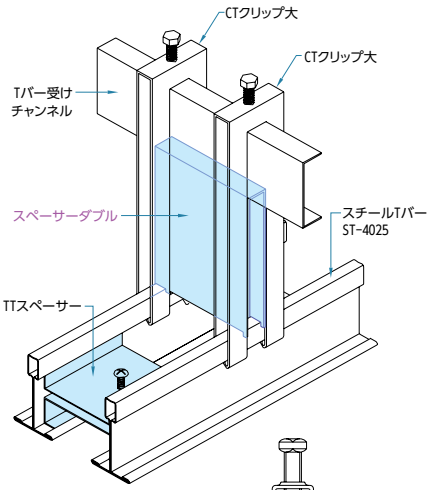
CTクリップ小を使う
チャンネル直付け

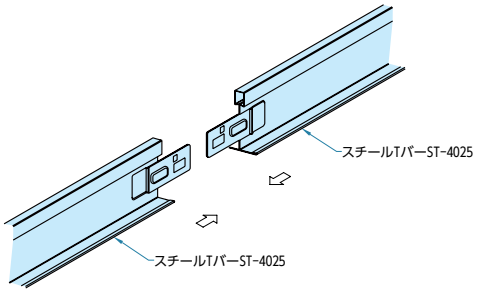


スペーサーシングルを使う
チャンネル下78㎜

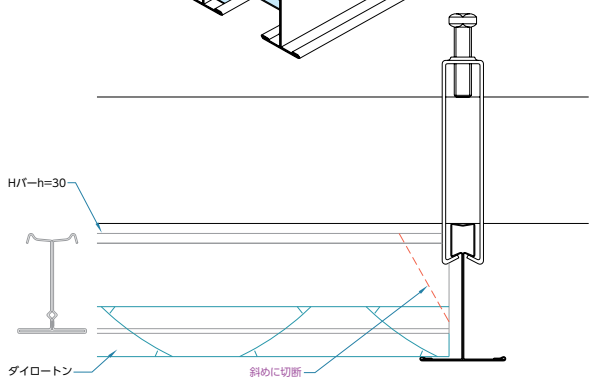


スペーサーダブルを使う
チャンネル下78㎜
Tバー芯々50㎜

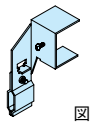
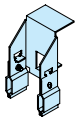
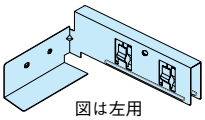
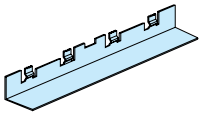
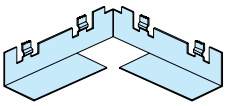




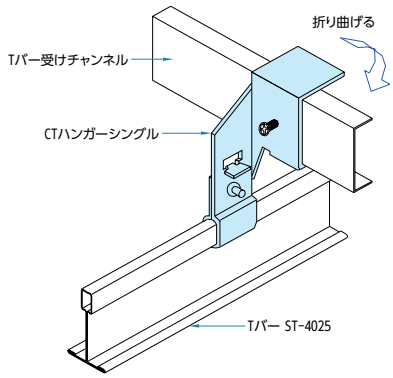
Tバーを接続する
ジョイント金具一体型



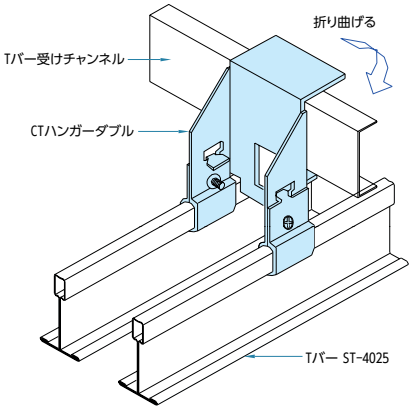
Hバーは、ダイロートンと同じ長さであることが必要です。現場にてHバー長さ加工をされ、CTクリップ等に当たるところは、Hバー先端部を斜めに切断してください。

部材名称	CTハンガーシングル78（右・左）	CTハンガーダブル78	TLクロスジョイント（右・左）	LLストレートジョイント	LLクロスジョイント入隅
姿図	 図は左用		 図は左用		
サイズ	チャンネル下端h=78	チャンネル下端h=78 Tバー芯々50㎜	ℓ=52×98	ℓ=120	ℓ=60×60
材質	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板
備考	Tバー受チャンネルと Tバー（ST-4025）接続用	Tバー受チャンネルと Tバー（ST-4025）接続用	Tバー（ST-4025）と 廻縁（SL-2030）直角接続用	廻縁（SL-2030）と 廻縁（SL-2030）直接続用	廻縁（SL-2030）と 廻縁（SL-2030）直角接続用

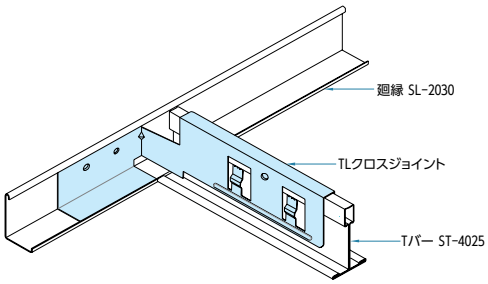
CTハンガーシングルを使う
チャンネル下端から天井
仕上げ面まで78㎜



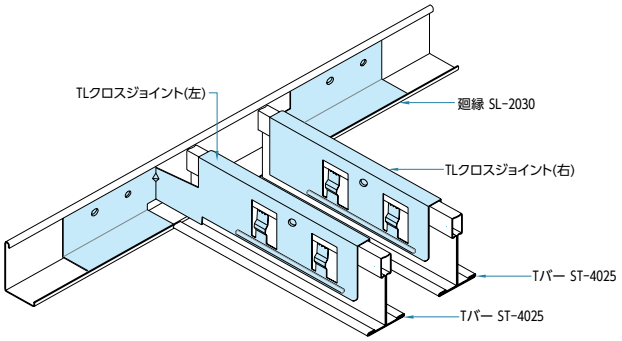
CT ハンガーダブルを使う
チャンネル下端から天井
仕上げ面まで 78㎜
T バー芯々 50㎜



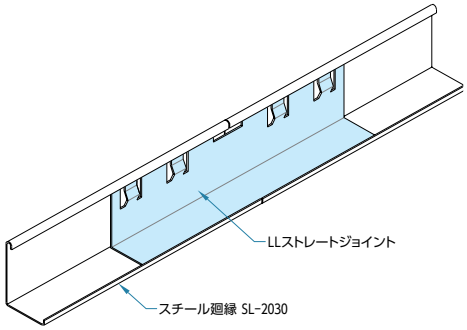
TLクロスジョイントを使う
シングルタイプ



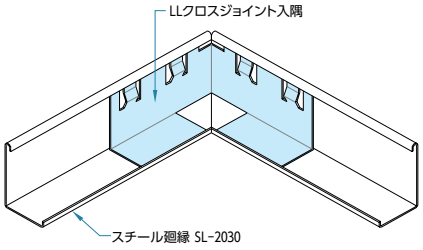
TLクロスジョイントを使う
ダブルタイプ



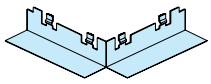
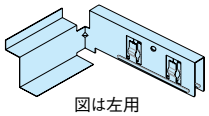
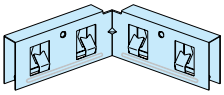
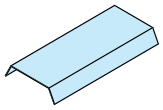
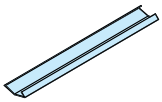
LL ストレートジョイントを使う
廻縁直接続



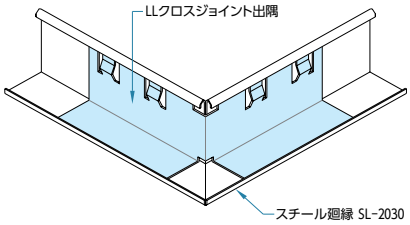
LLクロスジョイント（入隅）を使う
廻縁直角接続



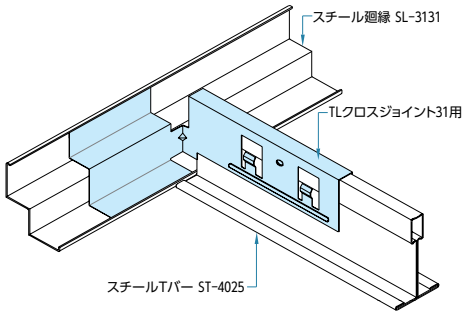
スチールTバー用部材(続き)

部材名称	LLクロスジョイント出隅	TLクロスジョイン31用(右・左)	TTクロスジョイント出入隅	目地カバー	レターンバッフル板
姿図		 図は左用			
サイズ	ℓ=60×60	ℓ=50×75	ℓ=75×75	Tバー芯々=50　ℓ=1,820	Tバー芯々=50　ℓ=1,820
材質	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板	スチール 黒色塗装	スチール 黒色塗装
備考	廻縁(SL-2030)と廻縁(SL-2030)直角接続用	Tバー(ST-4025)と廻縁(SL-3131)直角接続用	Tバー(ST-4025)とTバー(ST-4025)直角接続用	ダブルTバー(ST-4025)の目地カバー	ダブルTバー(ST-4025)のレターンバッフル板

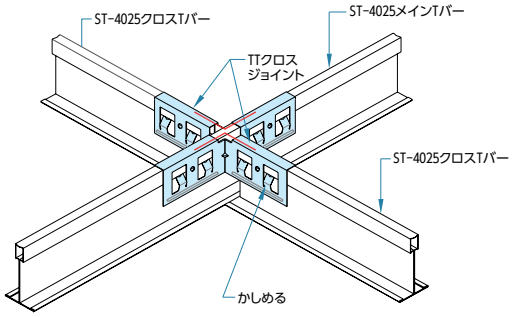
LLクロスジョイント(出隅)を使う
廻縁直角接続



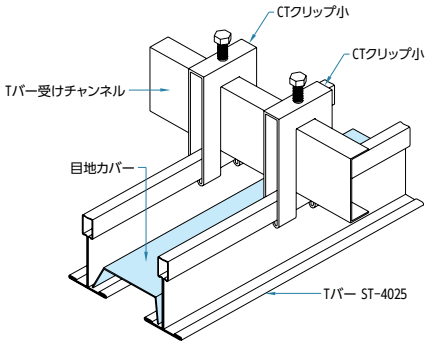
TLクロスジョイント31用を使う
Tバー(ST-4025)と廻縁(SL-3131)の直角接続



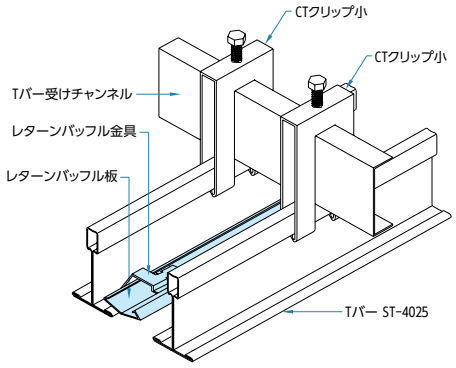
TTクロスジョイントを使う
TバーとTバーの直角接続



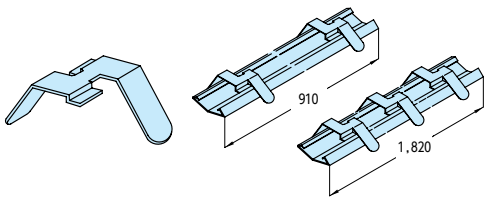
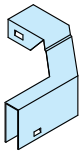
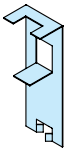
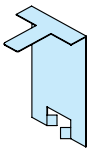
目地カバーを使う
ダブルTバーの見付け塞ぎ

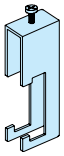
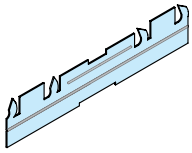


レターンバッフル板を使う
ダブルTバーの見付け塞ぎ

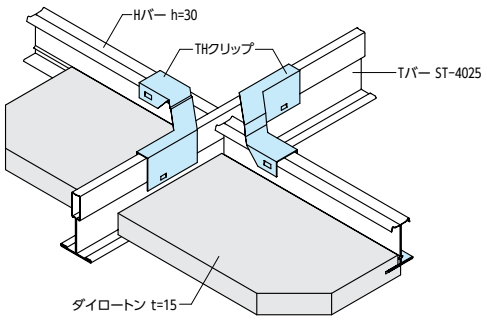


※SL-3131用のLLストレートジョイント、LLクロスジョイント(出・入隅)も準備しています。
詳しくは弊社営業部にお問合せください。

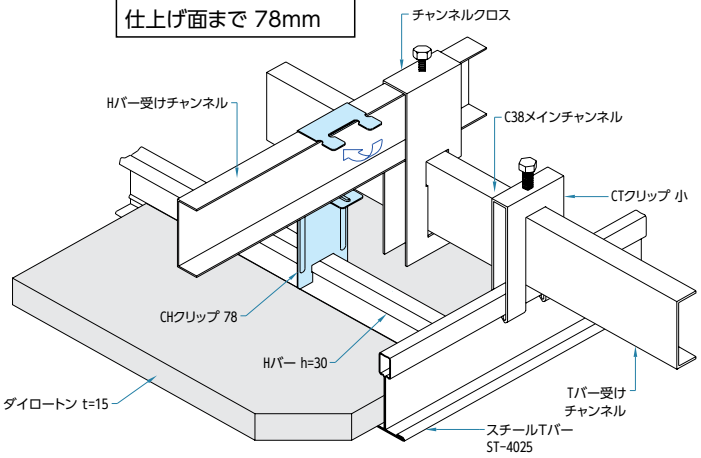
部材名称	レターンバッフル金具	THクリップ スチール用	CHクリップ78	CHクリップ40
姿図				
サイズ	Tバー芯々=50　ℓ=20	―	チャンネル下端から天井仕上面まで:78	チャンネル下端から天井仕上面まで:40
材質	スチール	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板
備考	ダブルTバー(ST-4025)と レターンバッフル板接続用。 レターンバッフル板の両端に使用	TバーとHバー接続用	C-38とHバー接続用	C-38とHバー接続用

部材名称	チャンネル直交金具	TTストレートジョイント
姿図	 一般市販品(現場調達)	
サイズ	―	―
材質	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板
備考	C-38とC-38の 直交金具 一般市販品(現場調達)	Tバー(ST-4024)どうしの 直接続用 Tバーの切使いに使用

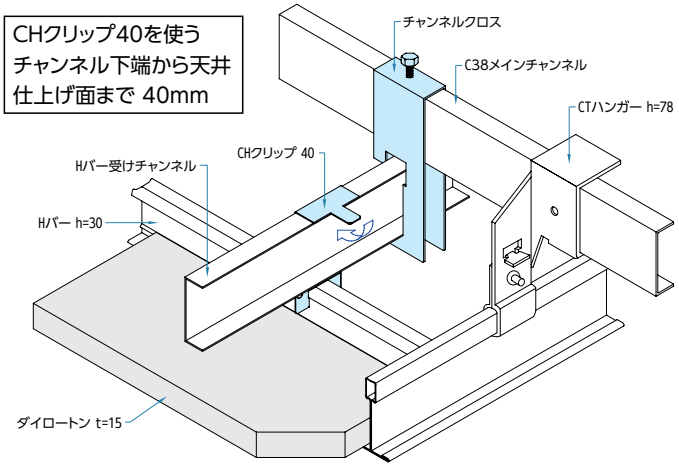
THクリップを使う



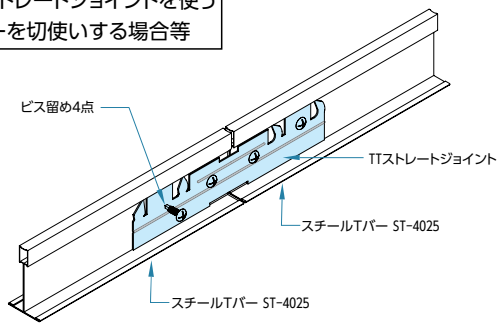
CHクリップ78を使う
チャンネル下端から天井
仕上げ面まで 78mm



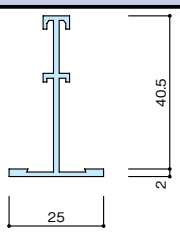
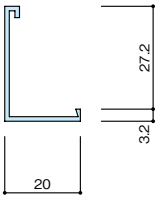
CHクリップ40を使う
チャンネル下端から天井
仕上げ面まで 40mm

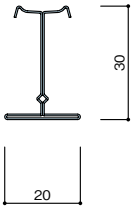


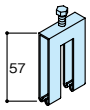
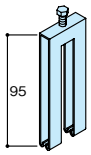
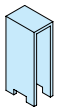
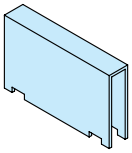
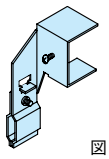
TTストレートジョイントを使う
Tバーを切使いする場合等



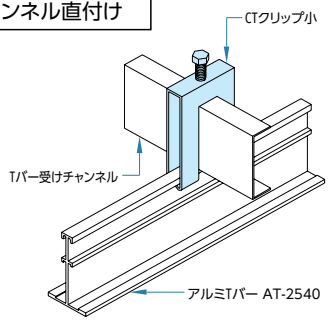
アルミTバー用部材

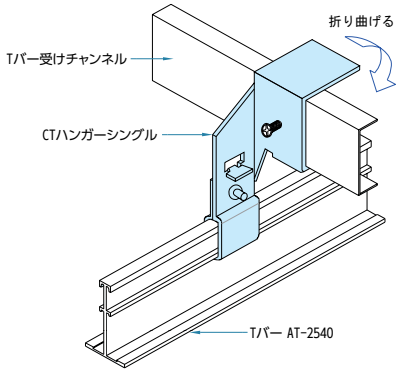
品名	材質	長さ	形状・名称
Tバー	アルミ	3,200	AT-2540 
廻縁	アルミ	3,200	AL-2031 

部材名称	Hバー
姿図	
サイズ	h=30
材質	亜鉛メッキ鋼板
備考	天井板の接続用

部材名称	CTクリップ 小	CTクリップ 大	スペーサー シングル	スペーサーダブル	CTハンガーシングル
姿図					 図は右用
サイズ	h=57 （チャンンネル下端 h=40）	h=95 （チャンネル下端 h=78）	チャンネル下端h=78	チャンネル下端h=78 Tバー芯々50㎜	チャンネル下端h=78
材質	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板
備考	Tバー受チャンネルと Tバー（AT-2540）接続用	Tバー受チャンネルと Tバー（AT-2540）接続用	Tバー（AT-2540）と CTクリップ大接続用のスペーサー	AT-2540のダブルTバー組みと CTクリップ大接続用のスペーサー	Tバー受チャンネルと Tバー（AT-2540）接続用

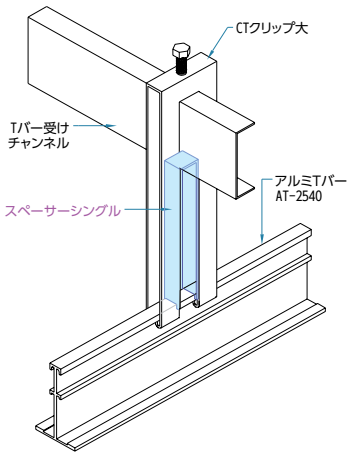
CTクリップ小を使う
チャンネル直付け



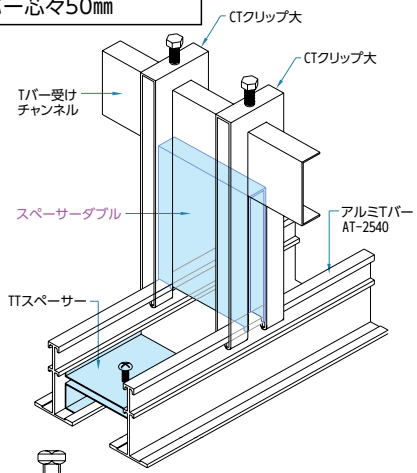


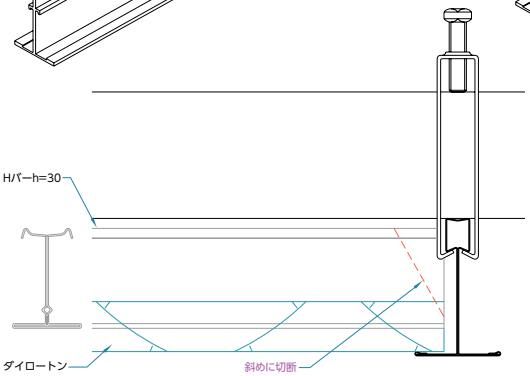
CTハンガーシングルを使う
チャンネル下端から天井仕上げ面まで 78㎜

スペーサーシングルを使う
チャンネル下端から天井
仕上げ面まで 78㎜

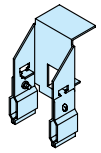
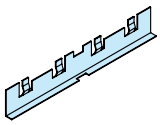
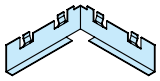
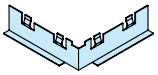
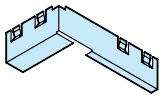
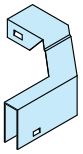


スペーサーダブルを使う
Tバー芯々50㎜

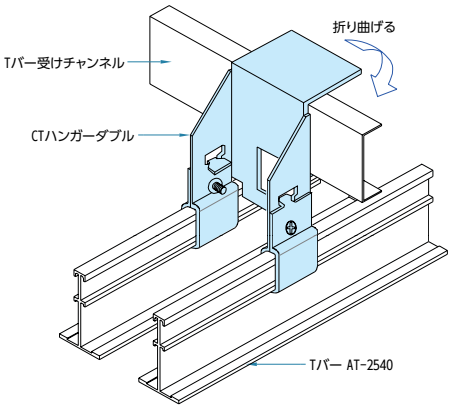


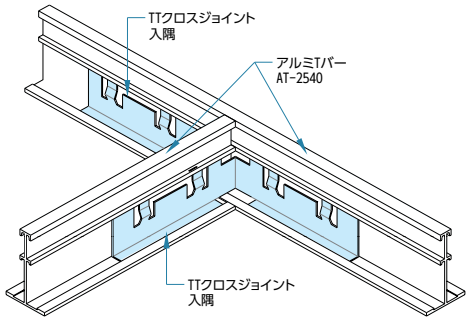


Hバーは、ダイロートンと同じ長さであることが必要です。現場にてHバー長さ加工をされ、CTクリップ等に当たるところは、Hバー先端部を斜めに切断してください。

部材名称	CTハンガーダブル	TTストレートジョイント アルミ用	TTクロスジョイント 入隅	TTクロスジョイント 出隅	TLクロスジョイント (右・左)	THクリップ アルミ用
姿図					 図は左用	
サイズ	チャンネル下端h=78 Tバー芯々50㎜	ℓ=150	ℓ=75×75	ℓ=75×75	ℓ=52×98	―
材質	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板
備考	Tバー受チャンネルと Tバー(AT-2540)接続用	Tバー(AT-2540)と Tバー(AT-2540)直接続用	Tバー(AT-2540)と Tバー(AT-2540)直角接続用	Tバー(AT-2540)と Tバー(AT-2540)直角接続用	Tバー(AT-2540)と 廻縁直角接続用	アルミTバーと Hバー接続用

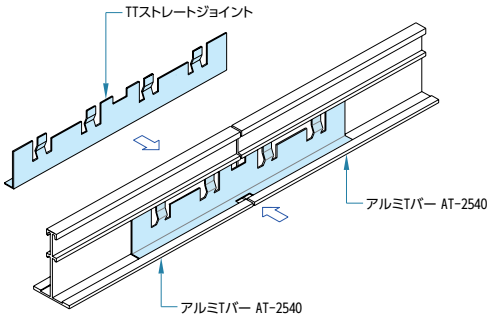
CTハンガーダブルを使う
チャンネル下端から天井
仕上げ面まで 78㎜
Tバー芯々50㎜



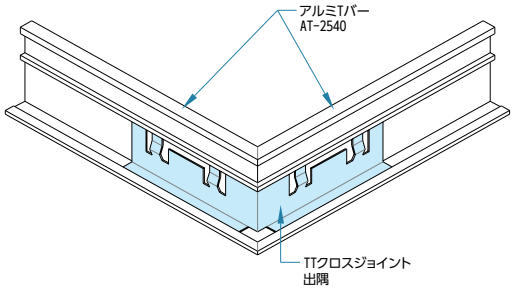


TTクロスジョイント(入隅)を使う
TバーとTバー直角接続

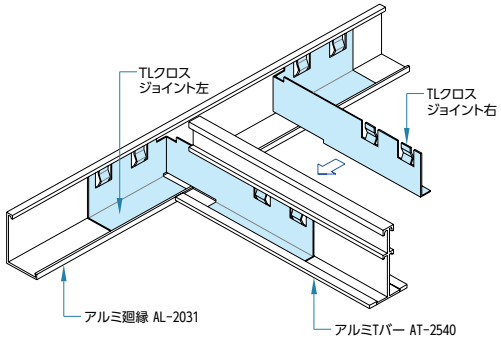
TTストレートジョイントを使う
TバーとTバー直接続



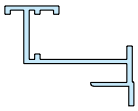
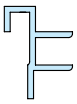
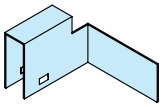
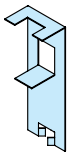
TTクロスジョイント(出隅)を使う
TバーとTバー直角接続



TLクロスジョイントを使う
Tバーと廻縁直角接続

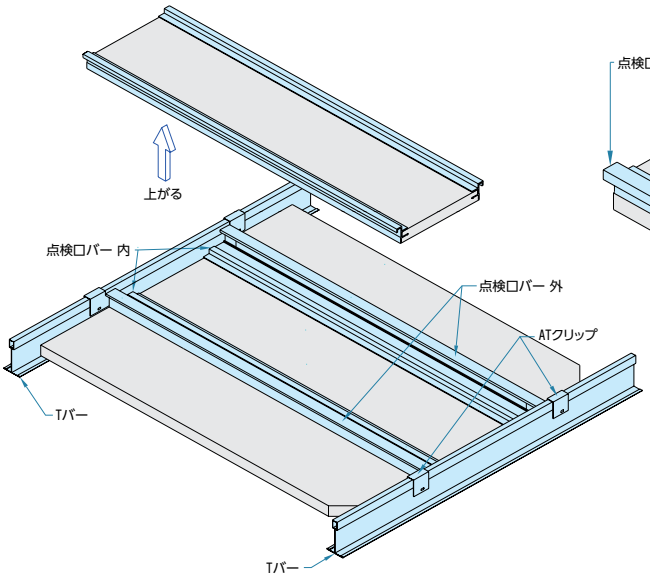


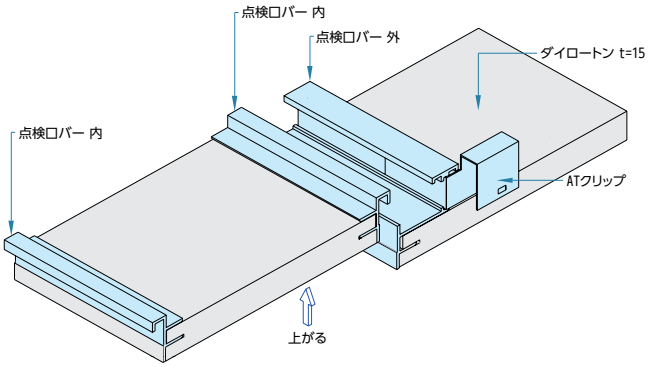
点検口用材料（スチールTバー、アルミTバー共通）

部材名称	点検口バー 外 EN-25	点検口バー 内 EN-26	点検口バー L	ATクリップ（右・左）	CHクリップ78
姿図	 t=1.5	 t=1.5	t=1.5	 図は左	
サイズ	ℓ=3,000（ℓ=4,000） t=1.5	ℓ=3,000（ℓ=4,000） t=1.5	点検口板幅 394 ℓ=397 点検口板幅 369 ℓ=372	—	h=78
材質	アルミ アルマイト処理	アルミ アルマイト処理	アルミ アルマイト処理	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板
備考	点検口の外枠 （固定側）	点検口の内枠 （可動側）	点検口分割時 木口に使用 （接着剤留め）	T バーと点検口バー外の接続用 （ラインタイプに使用）	C-38 直交チャンネル と点検口バー外の接続用 （長尺ラインタイプに使用）

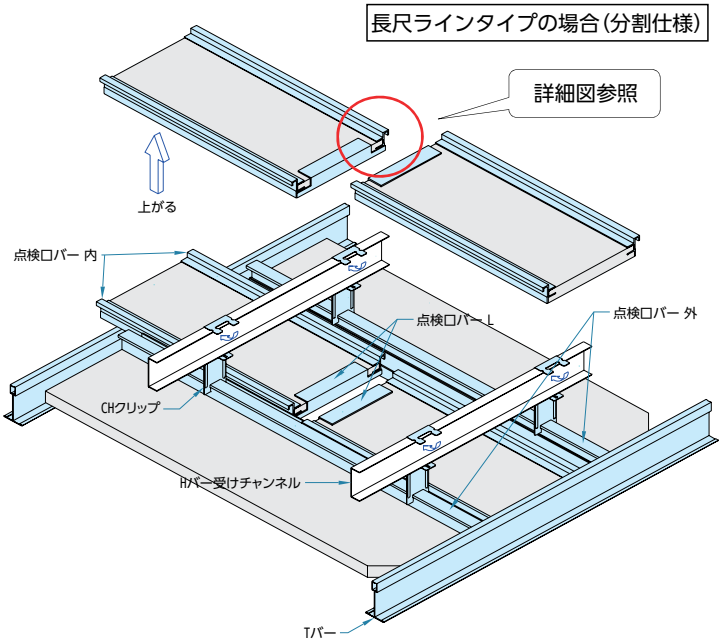
ラインシリーズの点検口について

ラインタイプの場合（一枚仕様）





長尺ラインタイプの場合（分割仕様）



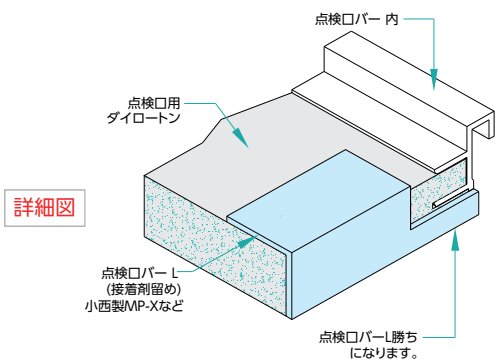
※点検口板の寸法算出例
各伏図での算出例です。物件ごとで十分確認ください。

<例>Tバー芯々1,480㎜で、一般部の板幅400㎜
（一枚仕上げ）

幅= 400㎜ - 6㎜ = 394㎜
長さ=1,480㎜ - 8㎜ =1,472㎜
一ヶ所に付き 点検口バー外 ℓ=1,472 2本
点検口バー内 ℓ=1,472 2本
板 394×1,472 = 1枚

＜例＞T バー芯々 2,960㎜で、一般部の板幅 400㎜
（3 分割とすると）

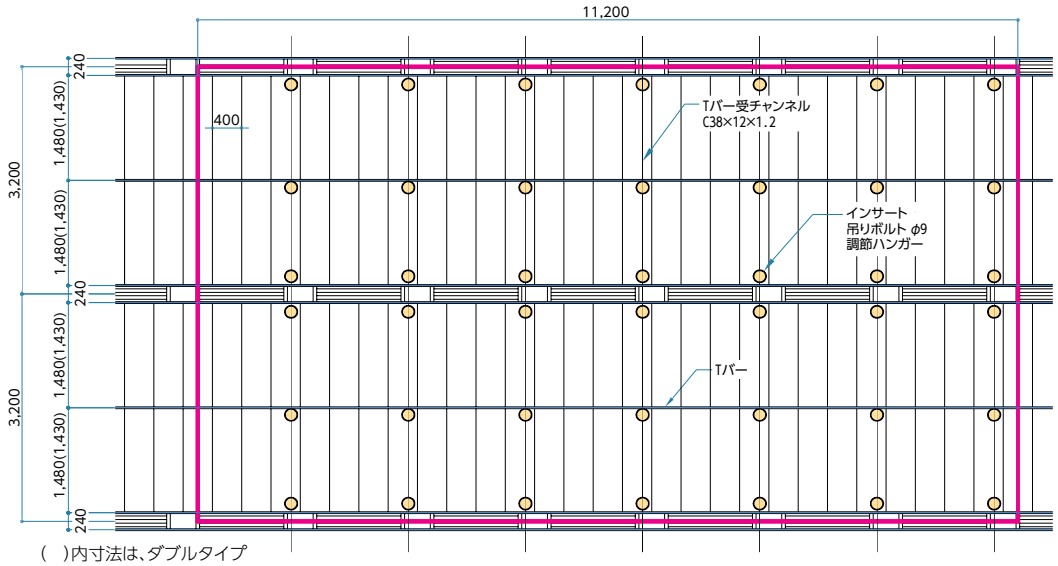
幅= 400㎜ - 6㎜ =394㎜
長さ= (2,960㎜ -8㎜ -6㎜) ÷3=982㎜
一ヶ所に付き 点検口バー外 ℓ=2,952 2本
点検口バー内 ℓ=982 6本
点検口バー L ℓ=397 4本
板 394×982 = 3枚



[ラインシリーズ ラインタイプ 参考歩掛表] ㎡当りの必要数（下の積算図参照ください）

部材名	寸法他	スチール				アルミ				単位
		シングル	ダブル	長尺シングル	長尺ダブル	シングル	ダブル	長尺シングル	長尺ダブル	
吊ボルト	φ9、ℓ＝（　　）全ネジ	0.59	0.59	0.59	0.59	0.59	0.59	0.59	0.59	本
ナット	φ9	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17	ヶ
調節ハンガー		0.59	0.59	0.59	0.59	0.59	0.59	0.59	0.59	ヶ
C-38チャンネル	C38×12×1.0　ℓ=5,000	0.13	0.13	0.25	0.25	0.13	0.13	0.25	0.25	本
C-38チャンネルジョイント		0.12	0.12	0.23	0.23	0.12	0.12	0.23	0.23	ヶ
CTクリップ小		0.59	0.98	0.39	0.78	0.59	0.98	0.39	0.78	ヶ
スチールTバー　ST-4025	ℓ=3,200	0.30	0.49	0.20	0.39					本
アルミTバー　AT-2540	ℓ=3,200					0.30	0.49	0.20	0.39	本
TTストレートジョイント						0.56	0.95	0.36	0.75	ヶ
TTスペーサー	w=50 @700		0.89		0.89		0.89		0.89	ヶ
THクリップ		1.57	1.57			1.57	1.57			ヶ
CHクリップ	h=78			1.51	1.51			1.51	1.51	ヶ
Hバー　（シングル）	h=30、ℓ=1,472	1.57				1.57				本
Hバー　（ダブル）	h=30、ℓ=1,422		1.57				1.57			本
Hバー　（長尺シングル）	h=30、ℓ=2,952			0.75				0.75		本
Hバー　（長尺ダブル）	h=30、ℓ=2,852				0.75				0.75	本
ダイロートン　（シングル）	t=15×400×1,472SK	1.57				1.57				枚
ダイロートン　（ダブル）	t=15×400×1,422SK		1.57				1.57			枚
ダイロートン　（長尺シングル）	t=15×400×2,952SK			0.78				0.78		枚
ダイロートン　（長尺ダブル）	t=15×400×2,852SK				0.78				0.78	枚

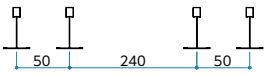
・歩掛数量には、ロス率は含まれません。必要に応じ、ロス率を考慮ください。



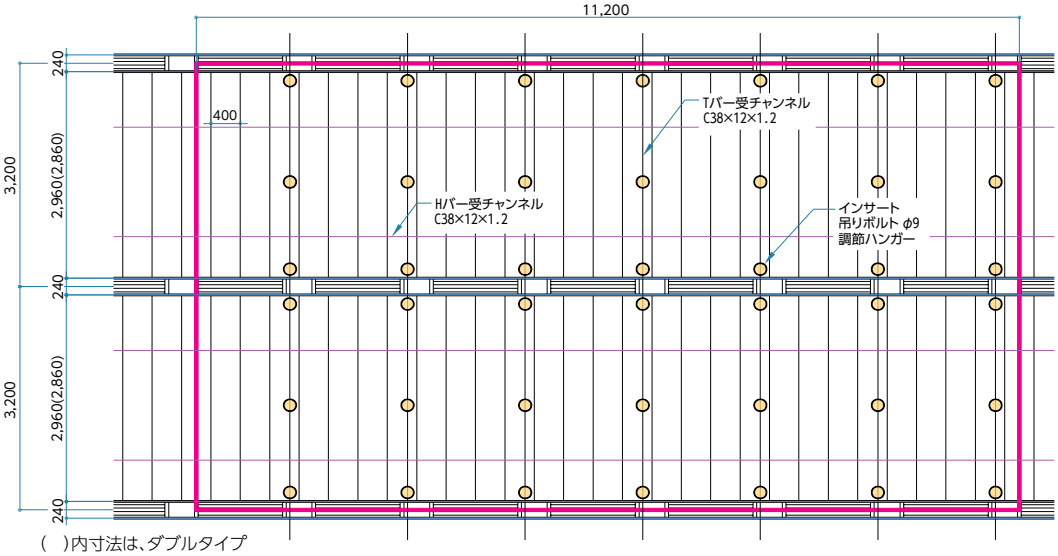
ラインタイプ積算図

( )内寸法は、ダブルタイプ

シングルタイプ



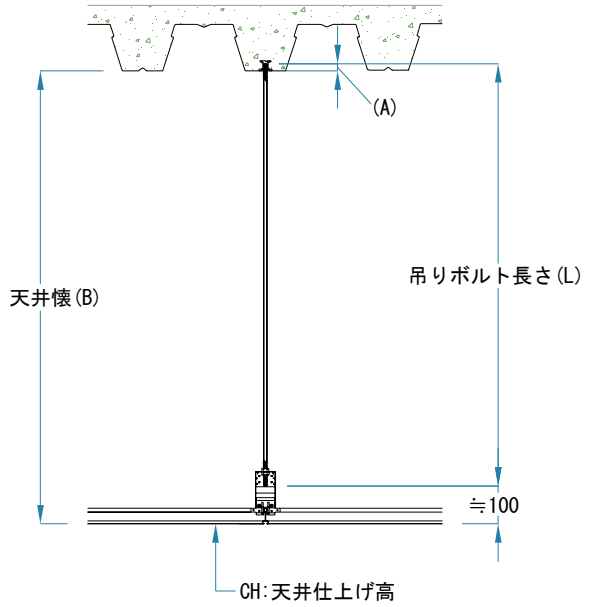
ダブルタイプ



長尺ラインタイプ積算図

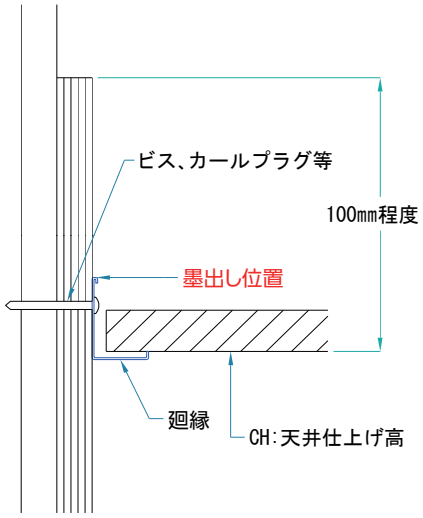
( )内寸法は、ダブルタイプ

吊りボルトの長さを決める



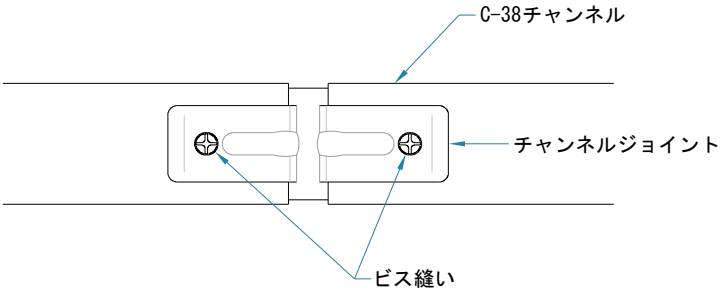
吊りボルト長さ(ℓ)＝天井懐(B)-100+(A)
(A)は、インサートアンカーへの吊りボルトねじ込み代

天井墨出しと廻縁を取り付ける



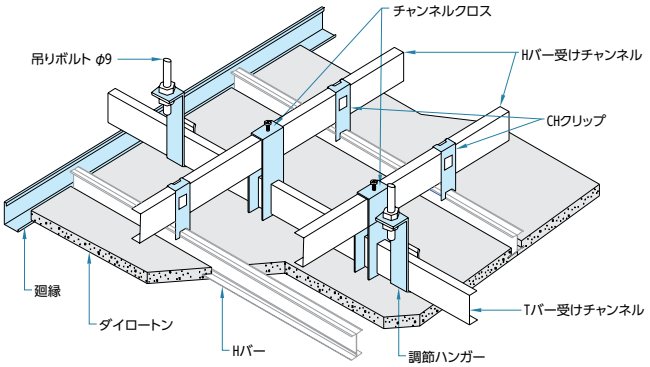
天井高さの墨出し
廻縁上端の位置に、システム天井組み基準の墨出しを行う。
天井の基準となりますので、正確に墨打ちを行う。

C-38 チャンネルを接続する



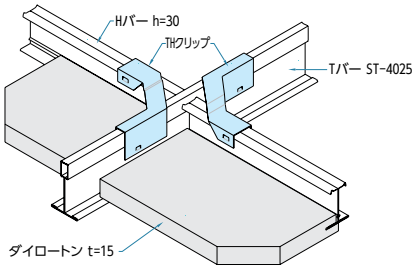
C-38 チャンネルの接続
C-38 メインチャンネルの接続は、ジョイント金物を使い、ビス縫いで留める。

壁際にHバー受けチャンネルを取り付ける（ラインシリーズの場合）

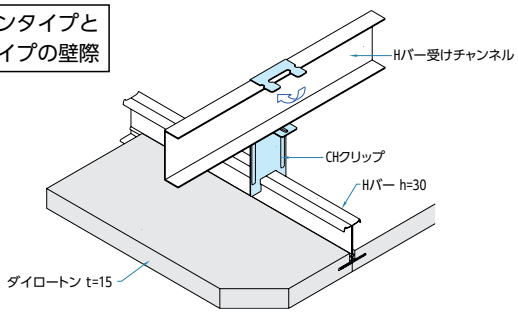


THクリップ・CHクリップを取り付ける

ラインタイプ



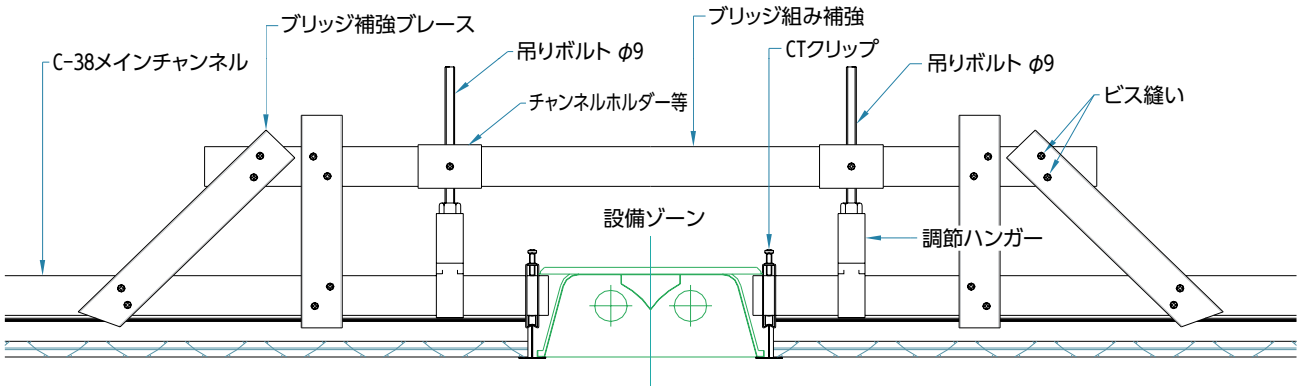
長尺ラインタイプと
ラインタイプの壁際



ブリッジ組みを行う（ラインシリーズの場合）

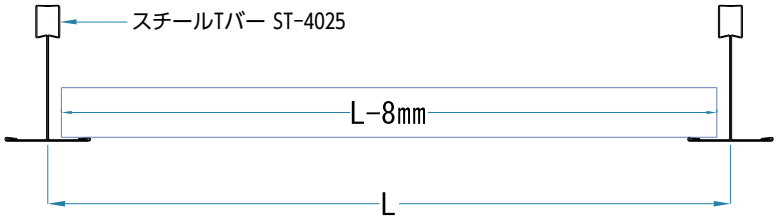
ラインシリーズで設備ゾーン、梁などによって、C-38メインチャンネルを切断しなければならない場合は、ブリッジ組みを行い連結補強する。又、ブリッジ組みに対し、可能な限りブレース補強を行う。

(例) 設備ゾーンの場合



天井板の長さをカットする（ラインタイプの場合）

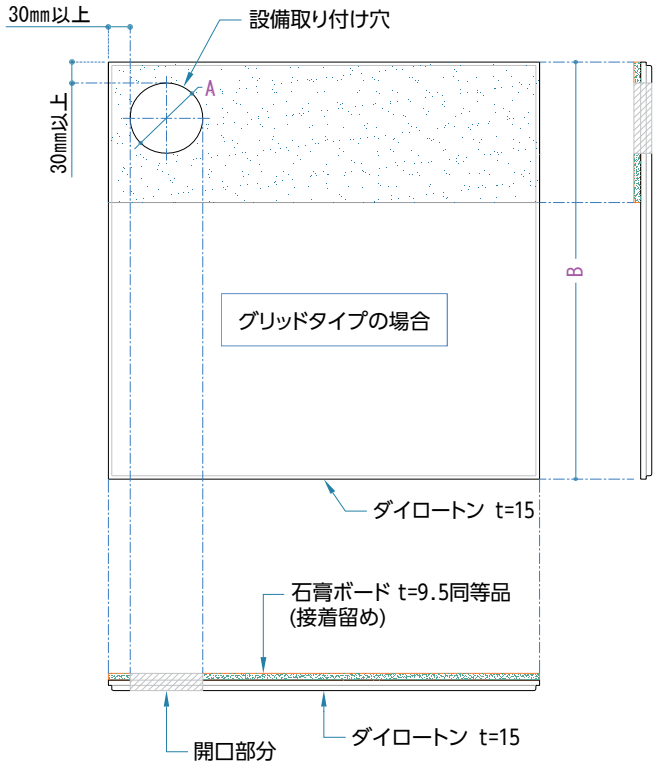
天井板ダイロートンの発注や、現場にて切断加工をする場合の板の長さは、以下の寸法を参照ください。
万一板が片寄せになった場合でも、最少載せ代が、5㎜以上となるようにします。

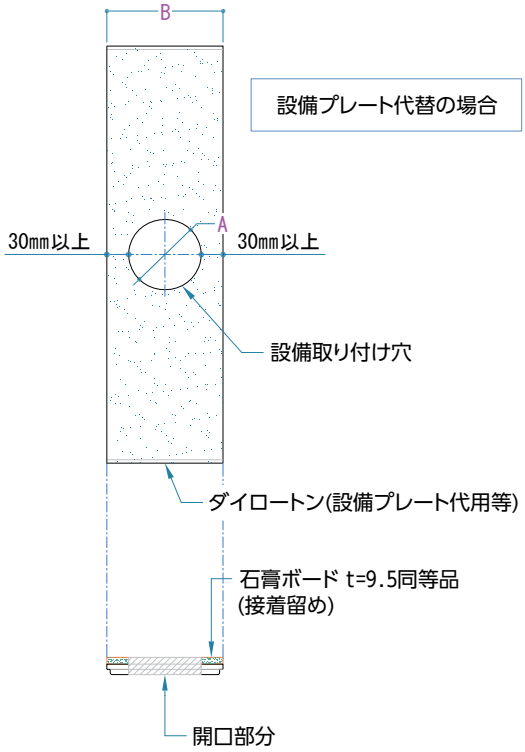


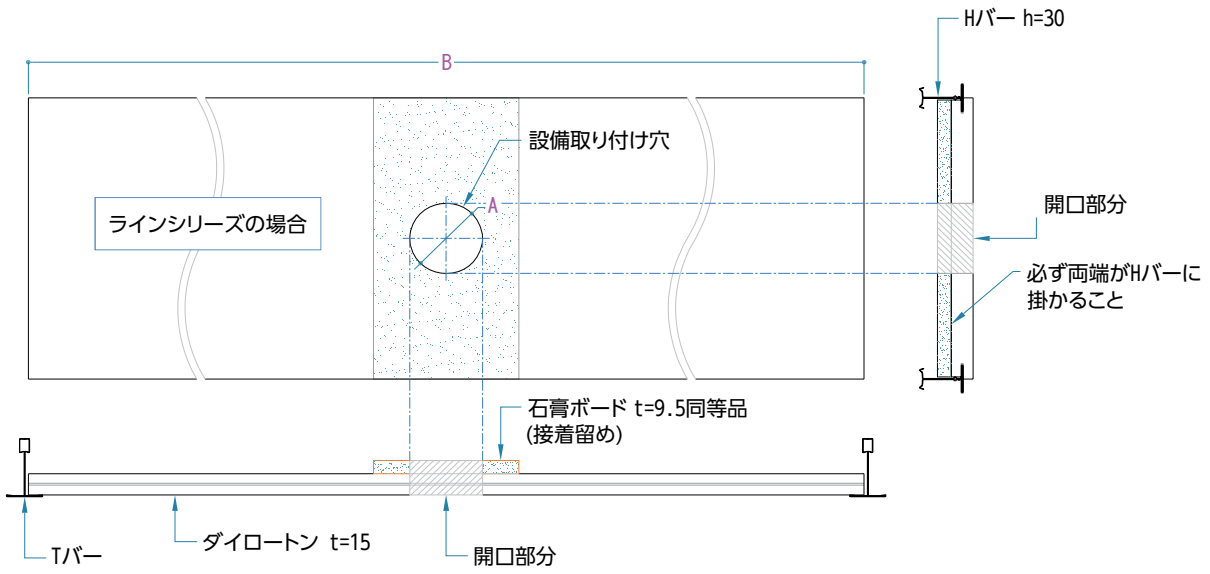
(Tバー芯々) − 8㎜

天井板を開口補強する

天井板に穴加工し設備を取り付ける場合必ず行ってください。
設備取り付け穴は天井材1枚に付き1ヶ所、その重量は 1kg 以内とします。



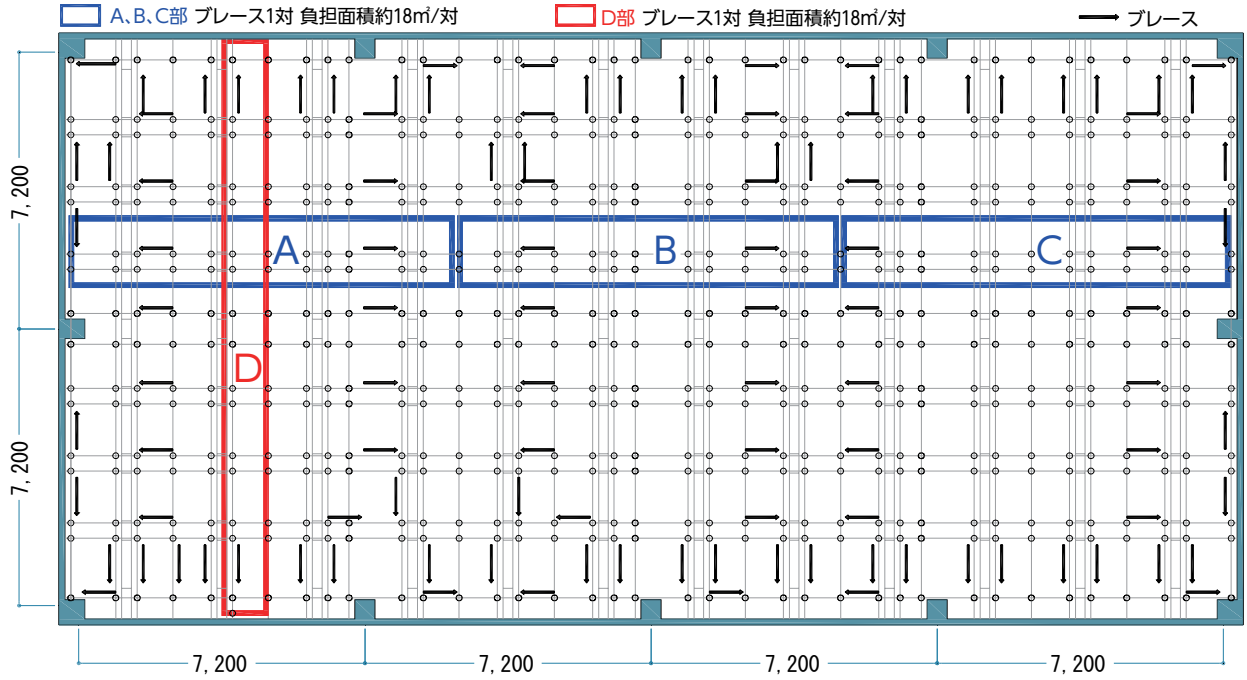




補強材(石膏ボードt=9.5同等品)の寸法目安
B (天井板幅)<210 ⇒ 補強材は天井材幅と同じにする
B (天井板幅)>211 ⇒ A (設備取り付け穴)+100㎜以上とする
いずれも、板端より開口端まで30㎜以上の間隔があることとします

この資料は、ロックウール工業会HP中の「システム天井材の開口及び開口補強基準(2017.04改訂)」を参照しています。

ラインシリーズ 斜めブレース配置参考例



※この図はロックウール工業会システム天井新耐震基準(2013年版)を参照しています。

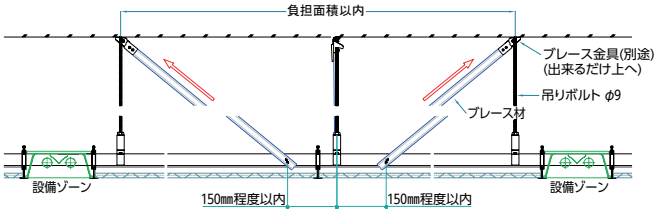
ブレース材	適用する天井懐寸法
C38×12×1.2	1,010㎜以下
C25×19×5×1.0	1,380㎜以下
C40×20×1.6	1,500㎜以下

ブレース設置基準

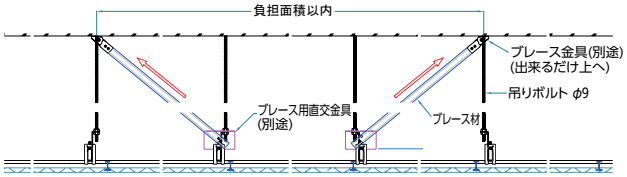
・天井水平入力加速度1G,天井鉛直入力加速度0.5Gのとき、ブレースは、18㎡以内にχ y 方向に1対設置する。
・システム天井及び搭載設備の質量が10kg/㎡以外の場合は、ブレース1組の負担面積を換算して求める。
※国土交通省の「建築物における天井脱落対策に係る技術基準(2013年9月)」に準拠したものではありません。
※ラインシリーズの脱落低減対策としてロックウール工業会の「既存システム天井ラインシリーズの脱落低減措置例」を参照ください。

ラインシリーズのブレース取り付け

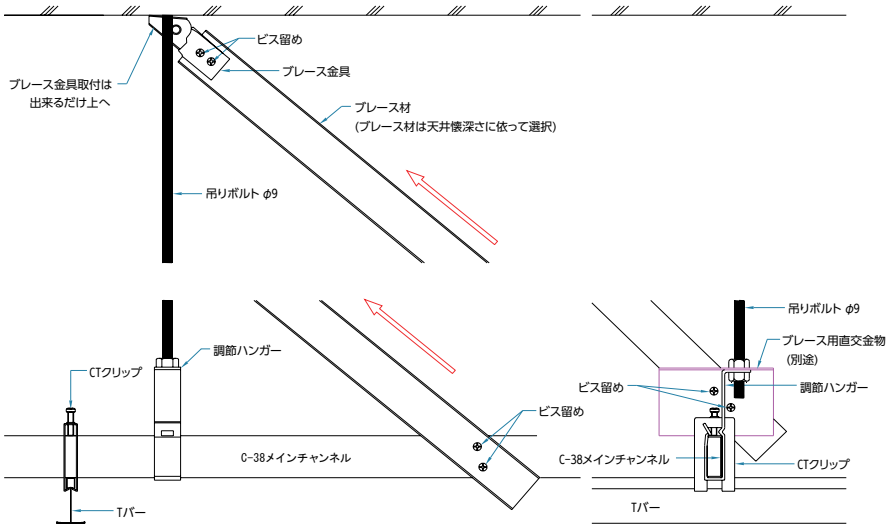
●設備ゾーンに直交方向



●設備ゾーンに平行方向



ラインシリーズ 耐震ブレース取り付け参考断面図



Tバーと直交方向への取付け

Tバーと平行方向への取付け

ラインシリーズの施工要領と注意点

1	別途先行工事	主な要領と注意点は次の通りです。 ・基準墨(陸墨、返り墨)が所定の位置に出ているか確認をする。 ・壁面及び柱周りの仕上げは、天井仕上げ面より100㎜以上高く仕上げてあること。 ・吊元のインサートが、図面の通り打設されているか確認する。必要なところに無い場合、打増しを行ってもらう。
↓		
2	天井墨出し	
↓		
3	廻縁取り付け	
↓		
4	吊りボルトの取り付け	
↓		
5	Tバー受けチャンネルの取り付け	
↓		
6	Tバーの取り付け	・水糸を張り、曲がりの無いようTバーを施工し、水糸はそのまま残す。
↓		
7	Hバー受けチャンネルの取り付け	
↓		
8	レベルの調整	
↓		
9	耐震ブレースの取り付け	・図面通りに耐震ブレースを設置する。
↓		
10	中間検査	・図面通り耐震ブレースが設置されているかどうか確認する。
↓		
11	別途設備工事	
↓		
12	レベル及び通りの確認	・設備取り付け後、6で残した水糸との狂いを確認する。
↓		
13	ダイロートンの張り上げ、点検口の取り付け	・製品裏面の矢印方向を合わせて施工する。
↓		
14	仕上がり状態の確認	
↓		
15	全体検査	

建築基準法について

●内装制限一覧表

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">用途・構造・規模区分</th><th colspan="3">当該用途に供する部分の床面積の合計</th><th colspan="2">内装制限</th><th rowspan="2">建築基準法施行令</th></tr>
<tr><th>耐火建築物の場合</th><th>準耐火建築物の場合</th><th>その他の建築物の場合</th><th>居室等</th><th>居室から地上に通ずる主たる廊下、階段、通路</th></tr>
<tr><td>①</td><td>劇場、映画館、演劇場、観覧場、公会堂、集会場</td><td>（客　席）
400㎡以上</td><td colspan="2">（客　席）
100㎡以上</td><td rowspan="3">難燃材料(※3)
（3階以上の階に居室を有する建築物の当該用途に供する居室の天井については、準不燃材料とする。）</td><td rowspan="6">準不燃材料</td><td rowspan="3">129(1)
128の4・(1)</td></tr>
<tr><td>②</td><td>病院、診療所(患者の収容施設があるものに限る)、ホテル、旅館、下宿、共同住宅、寄宿舎、児童福祉施設等</td><td>(3階以上の部分)
300㎡以上</td><td>（2階部分）300㎡以上
（病院、診療所は、2階に患者収容施設がある場合に限る）</td><td rowspan="2">200㎡以上</td></tr>
<tr><td>③</td><td>百貨店、マーケット、展示場、キャバレー、ナイトクラブ、カフェ、バー、ダンスホール、遊技場、公衆浴場、待合、料理店、飲食店、飲食店または物品販売業を営む店舗(10㎡以内を除く)</td><td>(3階以上の部分)
1,000㎡以上</td><td>（2階部分）
500㎡以上</td></tr>
<tr><td>④</td><td>自動車車庫、自動車修理工場、映画スタジオ又はテレビスタジオ</td><td colspan="3">全　　部</td><td rowspan="3">準不燃材料</td><td>129・(2)
128の4・(1)・二</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>地階または地下工作物内の居室等で①②③の用途に供するもの</td><td colspan="3">全　　部</td><td>129・(3)
128の4・(1)・三</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>窓その他開口部を有しない居室
(天井の高さ6mを超えるものは除く)</td><td colspan="3">床面積が50㎡を超える居室で窓等開放できる部分(天井から下方80cm以内の部分に限る)の面積の合計が床面積の1/50未満のもの
湿湿度調整を必要とする作業室等</td><td>129・(5)
128の3の2</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>階数および規模によるもの</td><td colspan="3">○階数が3以上で500㎡を超えるもの
○階数が2で1,000㎡を超えるもの
○階数が1で3,000㎡を超えるもの
ただし、次のものを除く
1)学校等(令126の2・(1)・二参照)
2)100㎡以内ごとに防火区画され特殊建築物の用途に供しない居室で、耐火建築物または主要構造部を準耐火構造とした準耐火建築物の高さが31m以下の部分にあるもの
3)②欄の用途に供するもので高さ31m以下の部分</td><td>難燃材料(※3)</td><td>128の4・(2)(3)
129・(4)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑧</td><td rowspan="2">調理室、浴室その他の室で、かまど、こんろ、その他火を使用する設備又は器具を設けたもの</td><td>住宅</td><td colspan="2">階数が2以上の住宅で、最上階以外の階にある火気使用室</td><td rowspan="2">準不燃材料</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">129・(6)
128の4・(4)</td></tr>
<tr><td>住宅以外</td><td colspan="2">火気使用室は全部
（ただし、主要構造部を耐火構造としたものは除く）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">⑨</td><td rowspan="3">階数が11階以上のもの</td><td colspan="3">100㎡以内に防火区画された部分</td><td>（※1）</td><td>（※1）</td><td>112・(5)</td></tr>
<tr><td colspan="3">200㎡以内に防火区画(20分遮炎性性能を有する防火設備を除く)された部分</td><td>準不燃材料
(下地とも)※</td><td>準不燃材料
(下地とも)※</td><td>112・(6)</td></tr>
<tr><td colspan="3">500㎡以内に防火区画(20分遮炎性性能を有する防火設備を除く)された部分</td><td>不燃材料
(下地とも)※</td><td>不燃材料
(下地とも)※</td><td>112・(7)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">⑩</td><td rowspan="3">地下街</td><td colspan="3">100㎡以内に防火区画された部分</td><td>（※2）</td><td>（※2）</td><td rowspan="3">128の3・(1)・三
128の3・(5)</td></tr>
<tr><td colspan="3">200㎡以内に防火区画(20分遮炎性性能を有する防火設備を除く)された部分</td><td>準不燃材料
(下地とも)※</td><td>不燃材料
(下地とも)</td></tr>
<tr><td colspan="3">500㎡以内に防火区画(20分遮炎性性能を有する防火設備を除く)された部分</td><td>不燃材料
(下地とも)</td><td>不燃材料
(下地とも)</td></tr>
</table>

（※1）　⑨欄の規定では、100㎡以内に防火区画された部分については、使用材料の制限は記されていないが、建築物の階数および規模による⑦欄が適用される。

（※2）　⑩欄の規定では、100㎡以内に防火区画された部分については、使用材料の制限は記されていないが、①②③欄の用途に供する部分については、④欄の規定が適用される。

（※3）　天井を準不燃材とするなど国土交通省の定める仕上げとした場合は、壁を木材等とすることが可能。(建設省告示第1439号)

注1　内装制限の適用を受ける建築物の部分は、居室および居室から地上に通ずる主たる廊下、階段その他の通路の壁および天井(天井がない場合は、屋根)の室内に面する部分である。ただし、①②③⑦⑨⑩欄の※については、規定に該当する居室の壁の床面からの高さ1.2m以下の部分には適用されない。(令129・(1)、112・(6))

注2　②のうち耐火建築物または主要構造物を準耐火建築物にあたっては、100㎡(共同住宅の住戸にあたっては200㎡)以内ごとに防火区画された部分は除く。

注3　②のうち1時間耐火構造の準耐火建築物の下宿、共同住宅または寄宿舎の用途に供する部分は、耐火建築物とみなす。

注4　内装制限で2以上の規定に該当する建築物の部分には、最も厳しい規定が適用される。

注5　①～⑧欄の規定について、スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、泡消火設備その他これらに類するもので、自動式のものおよび令126の3の規定に適合する排煙設備を設けた建築物の部分については、内装制限の規定は適用されない。(令129・(7))

注6　⑨⑩欄の規定について、スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、泡消火設備その他これらに類するもので、自動式のものを設けた部分については、防火区画の床面積は2倍まで緩和される。(令112・(1))

注7　⑧のうち、一戸建ての住宅に限って、国土交通省告示第225号が適用される。

Corporate Message

キノウを超える、ミライへ。

創業以来、限りある資源を活かした、たくさんの「機能」は、

皆さまの声に耳を傾け、共に創りあげてきたものです。

私たちは、素材・建材・空間づくりで、

そんな「昨日」をひとつずつ積み重ねてまいりました。

これからもずっとつづく、心豊かで、ここちよい未来のために。

これまでにない機能を見いだし、昨日を超えていく。

人々がもっと輝くミライへ。

私たちは、新たな可能性に挑戦しつづけてまいります。

「住宅用建材のメーカー」から
「建築資材の総合企業」へ

参考資料 | 製品の品質保証について

製品の品質保証について

弊社では、下記対象製品について、「保証期間一覧表」に示す期間、保証事項に記す内容に基づき、無料で修理させていただきます。
保証期間経過後の修理については有料となります。

対象製品

保証の対象製品は、原則として、当カタログ掲載製品とします。
※カタログ掲載製品以外の製品の保証につきましては、弊社営業所にお問合せください。
※製品付属の消耗品（電球、フィルター、電池等）は保証対象外となります。

保証事項

通常の環境下で、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合（保証期間一覧表参照）を無料で修理します。
尚、本内容は日本国内においてのみ有効です。
※修理とは、壊れたり傷んだりした部分に手を加えて、再び使用できるようにすること。（原則、新品交換は含みません）

保証期間

弊社製品の施工完了後、又は物件の引渡後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で修理する期間としております。（保証期間一覧表参照）保証期間経過後の修理については有料となります。
※あらかじめ保証書を同梱している製品、取扱説明書または梱包などに記載している製品は、その記載内容に準ずることとします。

保証期間一覧表

対象製品		保証事項			保証期間	
対象品目			保証個所	保証対象となる不具合現象	起算時期*2	
大分類	中分類					
床材	戸建用一般床材/戸建用各種用途床材/住宅用和風床材	外観上の著しい*1変形・変質が生じないこと	基材、表面	変形・変質（反り、ハガレ、中層ハクリ）	完了後	2年
	マンション用床材	外観上の著しい*1変形・変質が生じないこと	基材、表面	変形・変質（ハガレ、中層ハクリ）	完了後	2年
	公共商業施設用直床	外観上の著しい*1変形・変質が生じないこと	基材、表面	変形・変質（ハガレ、中層ハクリ）	完了後	2年
	床用造作材	外観上の著しい*1変形・変質が生じないこと	基材、表面	変形・変質（反り、ハガレ、中層ハクリ）	完了後	2年
	防音カーペット	外観上の著しい*1変質・変色が生じないこと	基材、表面	変質・変色	完了後	2年
	健やかおもて/ここち和座*3	外観上の著しい*1変質・変色が生じないこと	表面	変質・変色	完了後	2年
床暖房	電気式床暖房のヒーター部及び関連商品	使用上の著しい*1支障が生じないこと	ヒーターパネル内部の発熱部	作動不良（故障）	引渡後	1年
		作動不良を生じないこと	コントローラー、リレー	作動不良（故障）		
	温水式床暖房の温水循環部分	使用上の著しい*1支障が生じないこと	パネル内部の温水循環部材	作動不良（故障）	完了後	2年
	一体型床暖房の仕上部分	外観上の著しい*1変形・変質が生じないこと	基材、表面	変形・変質（反り、ハガレ、中層ハクリ）	完了後	2年
壁材	不燃壁材/デザイン壁材/デザイン腰壁/建築音響壁材	外観上の著しい*1変形・変質が生じないこと	基材、表面	変形・変質（反り、ハガレ、中層ハクリ）	完了後	2年
	調湿壁材	外観上の著しい*1変形・変質が生じないこと	基材、表面	変形（垂れ、ハガレ）	完了後	2年
	さらりあ収納壁材	外観上の著しい*1変形が生じないこと	基材、表面	変形（反り）	完了後	2年
天井材	住宅用天井材/建築音響天井材/他	外観上の著しい*1変形が生じないこと	基材、表面	変形（垂れ、ハガレ）	完了後	2年
外壁通気構法部材/外装造作材関連製品	外壁通気構法施工部材	外観上の著しい*1変形・変質が生じないこと	基材、表面	変形・変質	完了後	2年
	ダイライト軒天	外観上の著しい*1変形が生じないこと	基材	変形（垂れ）		
	軒天井ボード	外観上の著しい*1変形が生じないこと	基材	変形（垂れ）	完了後	3年
	外装造作材 スタイルパーツ	外観上の著しい*1変形が生じないこと	基材	変形（反り）		
換気/火災警報器	24時間換気システム	使用上の著しい*1支障が生じないこと	機器	作動不良（故障）	引渡後	1年
	火災警報器	使用上の著しい*1支障が生じないこと	機器	作動不良（故障）	引渡後	1年
室内ドア	リビングドア/機能ドア/和室建具/防音ドア/他	使用上の著しい*1支障が生じないこと	扉、枠	開閉不良（変形・変質により開口部材としての機能が損なわれる等）	引渡後	2年
		外観上の著しい*1変形・変質が生じないこと		変形・変質（反り、ハガレ、クラック）		
収納	クローク収納/内部ユニット/はしご/ものほし/ミセル/玄関収納/下駄箱/他	使用上の著しい*1支障が生じないこと	扉、ボックス、本体	作動不良（故障）	引渡後	2年
		外観上の著しい*1変形・変質が生じないこと		変形・変質（反り、ハガレ、クラック）		
		使用上の著しい*1支障が生じないこと	照明機器等	作動不良（故障）	引渡後	1年
階段/手摺	階段部材/手摺部材	外観上の著しい*1変形・変質が生じないこと	基材、表面	変形・変質（反り、ハガレ、クラック）	完了後	2年
		使用上の著しい*1支障が生じないこと	照明機器	作動不良（故障）	引渡後	1年
造作部材/掘こたつ	造作部材/室内窓/カウンタートップ/掘こたつ	外観上の著しい*1変形・変質が生じないこと	基材、表面	変形・変質（反り、ハガレ、クラック）	完了後	2年
		使用上の著しい*1支障が生じないこと	照明機器/コタツヒーター等	作動不良（故障）	引渡後	1年

*1:「著しい」の定義　正常な施工・使用状態のもとで、経過時間を考慮し客観的にみて、通常の状態から逸脱している度合いがきわめて大きいことをいいます。
*2:保証期間起算時期について　保証事項が"使用"に係るものについては保証期間を"物件引渡後"から起算します。それ以外のものについては"当該製品施工完了後"から起算します。
*3:対象について　原則一般住宅の使用に準拠した場合に限ります。

免責事項

製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。

① 建物の設計・施工に起因する不具合
② 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
③ 自然現象・周辺環境等（注1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合
④ 室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キシミ音などの不具合
⑤ 極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合
⑥ 建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
⑦ 入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する不具合
⑧ 取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
⑨ 経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
⑩ 用途外に使用された場合の故障および損害（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等）
⑪ 犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキクイムシなどの虫害に起因する不具合
⑫ 仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
⑬ 保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
⑭ 製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
⑮ 離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費
⑯ その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

注1:火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

2018年6月改訂

性能保証について

① 耐力壁材料などで「住宅の品質確保の促進等に関わる法律」に基づいて保証が必要な場合には、同法に準拠します。
② 遮音性能、床衝撃音遮断性能、吸音性能等は保証の対象外とします。なお、遮音性能、床衝撃音遮断性能、吸音性能等は一定の条件化で測定された数値であり、施工現場または居住後における性能を保証するものではありません。
③ 下地材が係る性能（防火性能、壁強度など）は、設計・施工を伴う総合的な性能である為、保証対象外とします。
④ カタログ等に表記している各種性能データ等は一定の条件下で測定された参考値であり、保証値ではありません。

参考資料 | DAIKEN WEBサイトのご紹介

お施主様から建築士・事業主様まで、幅広く活用できるDAIKENのWEBサイト。

住まいと製品選び
DAIKEN WEBサイト
お施主様向け 業者様向け
DAIKEN 検索 ＼カチッ／
https://www.daiken.jp/

設計&提案業務
DAIKEN ProGate
業者様向け
DAIKENプロゲート 検索 ＼カチッ／
https://www.daiken.jp/pro/

公共・商業施設製品選び
DAIKENとつくる 公共・商業施設
業者様向け
DAIKEN 公共・商業施設 検索 ＼カチッ／
https://www.daiken.jp/product/contents/building/

例えば、住まいづくりの場合　住まいづくりのステップにあわせてご活用いただけます。

1. 集める

お施主様向け 業者様向け

あなたが気になるテーマに関する住まいづくりや製品選びのノウハウがご覧いただけます。

DAIKEN WEBサイト

［主なコンテンツ］
■製品情報
■リフォーム/ビックアップトピックス
■サポート

2. イメージする

お施主様向け 業者様向け

お気に入りのカラーや部材を選んで、あなたにぴったりのインテリアをシミュレーションしていただけます。

DAIKEN ProGate

［主なコンテンツ］
■空間シミュレーション

3. プランする

業者様向け

収納を中心にリアルなプランを作成し、お施主様にご提案していただけます。

DAIKEN ProGate

［主なコンテンツ］
■収納プランニングソフト
■製品検索

4. 決める

お施主様向け 業者様向け

受発注用カタログをはじめとする各種デジタルカタログを活用して、製品選びや仕様の確認をしていただけます。

DAIKEN WEBサイト

［主なコンテンツ］
■Webカタログ
■資料請求
■ショールーム

5. 見積もる

業者様向け

設計・見積りが複雑な建具や24時間換気システムの設計、見積りづくりをサポートします。

DAIKEN ProGate

［主なコンテンツ］
■WEB見積システム
■24時間換気システム（エアスマート）
　簡易計算見積ソフト

6. 施工する

業者様向け

製品についての施工説明書や取扱説明書をダウンロードしていただけるサービスです。

DAIKEN ProGate

［主なコンテンツ］
■施工説明書、取扱説明書
■確認申請関係認定書類

7. メンテナンス・お客様サポート

お施主様向け 業者様向け

お客様がDAIKEN製品を末長く安心してお使いいただけるようサポートいたします。

DAIKEN WEBサイト

［主なコンテンツ］
■Q&A
■取扱説明書
■DAIKENパーツショップ
■各種お問い合わせ
■ユーザー登録サービス

カタログに掲載されているQRコードから、製品の性能や特長、施工方法などの動画をご覧いただけます。

動画サイトのご紹介

DAIKEN 製品動画 DOVIE（ドゥービー）
DAIKEN 製品動画 検索
http://www.daiken.jp/pro/dovie/

※コンテンツについては予告無く変更する場合がございますので、ご了承ください。

参考資料 | カタログラインナップ【住宅向け】

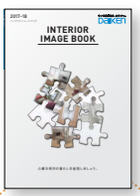
パソコンやスマートフォン、タブレットからもカタログをご覧になれます。
DAIKENカタログ 検索
https://www.daiken.jp/catalog/

［住宅向けカタログ］

お施主様への提案から部材選び、ご発注まで、目的に応じたカタログをご用意しています。

お施主様

イメージづくり



インテリア イメージブック
空間イメージづくりの決定版

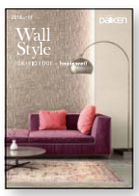
バラバラとめくりながら、床やドアなどの配色がチェックできます。

Precious Time
ここちよく上質なくらしを

STYLE SWITCH
リノベーションで
くらしを変える

スタイルから選ぶ

ハピア
ドアとインテリアの豊富なラインアップ



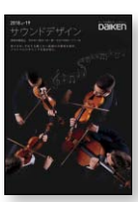
Wall Style
壁をインテリアの主役に
グラビオエッジ×ハピアウォール

日本の樹
日本の樹でしつらえる

グラビオエッジ・グラビオ
ダイライト基材の不燃壁材

スタイリッシュ
ファニチャー
MiSEL
美しい収納にこだわる

フィットシェルフ
世界で一つの「自分収納」



サウンドデザイン
防音・音響の空間をつくる

ペットと暮らす
ペットも人も心地いい
住まいづくり

ダイケン畳
健やかくん
伝統的な和室からモダンな空間まで

かべ大将
地震に強い住まいをつくる

部位別に選ぶ

1. 床材 床暖房

2. 壁材 腰壁 天井材

3. 耐震ボード 下地材

4. 換気 火災警報器

5. 室内ドア

6. 収納

7. 玄関収納

8. 階段 手摺

9. 造作部材 カウンター 掘こたつ

流通・施工業者様

ご案内 | ご提案［スタイル別建材選び］ | ご提案［部位別建材選び］

参考資料 | カタログラインナップ【公共・商業施設向け】

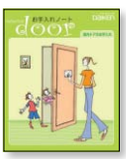
[公共・商業施設向けカタログ]

公共・商業施設の設計や製品受注に役立つカタログをご用意しています。

メンテナンス

お手入れノート

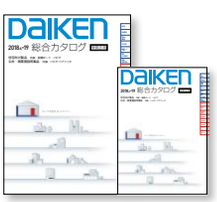
床材



ドア

収納

畳



総合カタログ ミニ版(A5)

設計・施工資料

拾い出し・見積り・発注

公共・商業施設向けカタログ

公共・商業施設用
製品カタログ

公共・商業施設用の製品を掲載

施設別カタログ

幼稚園・保育園・認定こども園向け

幼稚園・保育園・
認定こども園用
製品カタログ

設計士・施工業者様向けの
受発注用カタログ

ちびっこ
ニコニコ園づくり

理事長様・園長・保育士様向け
の提案カタログ

高齢者施設・サービス付き高齢者住宅向け

高齢者施設・サービス付き高齢者住
宅用おもいやりシリーズカタログ

設計士・施工業者様向けの
受発注用カタログ

部位別カタログ

天井

ロックウール吸音板
ダイロートン

教育施設や商業施設等、あらゆる
施設に使える天井材

ダイロートン
システム天井

オフィス・事務所向けの天井材

壁

グラビオエッジ・
グラビオ

さまざまな公共・商業空間を
デザインする不燃化粧壁材

畳

ダイケン畳
健やかくん

あらゆる施設の和室や
和コーナーに使える畳

流通業者向け 受発注専用カタログ

総合カタログ

ミニ版(A5)

設計・施工資料

定期発刊情報誌

DAIKEN
Architect News
(年3回発行)

最新の公共商業施設情報を
掲載

大建工業のご紹介

グループレポート

会社案内

*カタログの発刊日、内容、表紙デザインについては予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

参考資料 | TDY グリーンリモデルのご紹介

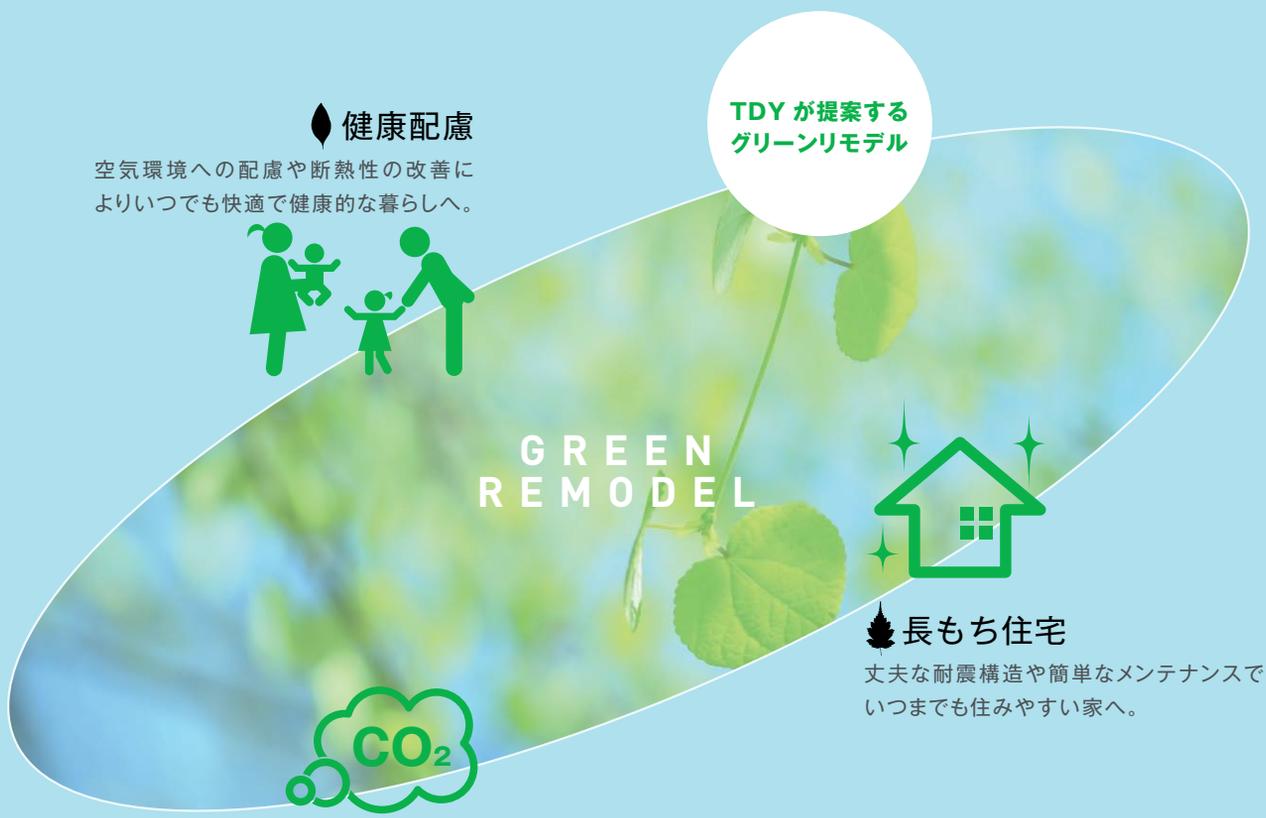
GREEN REMODEL

TOTO DAIKEN YKK ap

水まわりのTOTO、建材のDAIKEN、
窓やエクステリアのYKK APは
2002年から業務提携しています。
単なる「増改築」や「リフォーム」から一歩前進させ、
お客様の期待以上の新しい生活スタイルをご提案しています。

グリーンリモデルの 3つの視点 で理想の住まいへ。

「グリーンリモデル」
それは、TOTO、DAIKEN、YKK APの3社が力を合わせ、
もっと快適で、環境にやさしい暮らしを実現する、
新しいリフォームのかたち。
「健康配慮」「長もち住宅」「CO_2削減」という
3つの視点で、あなたの理想の家づくりをサポートします。



健康配慮

空気環境への配慮や断熱性の改善に
よりいつでも快適で健康的な暮らしへ。

長もち住宅

丈夫な耐震構造や簡単なメンテナンスで
いつまでも住みやすい家へ。

CO_2削減

構造の工夫や自然の光や風を活用して省エネに。
CO_2を削減し、地球にやさしい住まいへ。

グリーンリモデルに関する詳しい内容は、こちらまで

リモデル.JP 検索 ＼カチッ／

https://re-model.jp/

参考資料 | ショールームのご紹介

お施主さまの理想をカタチにするために、
是非 DAIKEN ショールームをご活用ください。

DAIKENショールーム

DAIKENショールームでお施主さまとの商談をスムーズに!

実際の製品にお施主さま自らが触れることができ、具体的な仕様やコストの確認もその場で行うことができます。

DAIKEN ショールームのメリット

1 イメージづくりをお手伝い

実際の商品を見て、触れて、雰囲気や質感を肌で感じていただけます。

2 現物確認・ご体感

耐傷性や消臭効果、防音性能など、目の前で効果を確認できます。

3 ご相談・プランニング

お施主さまのご希望に合った商品のご提案など、理想の住まいづくりをお手伝いいたします。

さまざまなイベントも開催しています

各ショールームでは住まいづくりに役立つ相談会やセミナーなどを行っています。是非、お近くのDAIKENショールームへお越しください。

イベント例

[セミナー・相談会]

- ●収納セミナー
- ●ペットとの快適なくらしセミナー
- ●防音相談会

TOTO·DAIKEN·YKK APコラボレーションショールーム

水回りや窓、エクステリアまで。住まいにまつわるさまざまな商品をご一緒にご覧いただけます。

GREEN REMODEL
TOTO DAIKEN YKK ap

札幌、新宿、金沢、名古屋、大阪、広島、高松、福岡

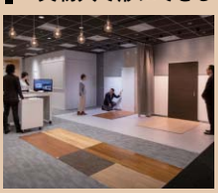
秋葉原テクニカルスペース

公共·商業施設の設計士様や事業主様の課題を解決するスペースです。

当施設は、公共・商業建築分野を手がける設計事務所やゼネコン、事業主様などにご活用いただくための特別なスペースです。技術や素材、製品の展示のほかに、ミーティングスペースや試作品のシミュレーションスペースを設け、一つ上のご提案をさせて頂いています。皆さまの課題に対して丁寧に対応させていただくために、完全予約制でお待ちしています。

秋葉原テクニカルスペース 3 つのポイント

1 頭の中のイメージを実物大で形にできる

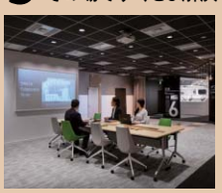


シミュレーションスペース

2 安全性・耐久性を自分の目で確認

テクノロジーゾーン

3 プロジェクトの課題もその場ですぐさま解決



ミーティングスペース

完全予約制

他のお客様のご案内中は、ご見学できない場合がございますので、必ず事前にご予約の上、ご来館いただきますようお願いいたします。

開館時間：平日10：00~17：00　休館日：土日祝日、夏期、年末年始

ご予約方法：

- ●弊社担当者へお申込みください。
- ●担当者がご不明な場合は所定の「来館予約申請書」に必要事項をご記入のうえ、秋葉原テクニカルスペースへFAXにてお申込ください。(詳細はWEBサイトをご覧ください)

お問い合わせ先：秋葉原テクニカルスペース　FAX：03-5296-4041

〒101-8950
東京都千代田区外神田三丁目12番8号　住友不動産秋葉原ビル3F

参考資料 | DAIKEN ショールーム・営業所のご案内

お近くの DAIKEN ショールームを ご案内します。

ショールーム活用のポイント

●平日のご来館と事前のご予約をおすすめします。

土・日曜日は混み合いますので、平日のご来館がおすすめ。
また、来館ご予約をいただきますと優先的にご案内させていただきます。

●レイアウトや寸法がわかるものをご持参ください。

気に入った商品でも、レイアウトや寸法の制約で設置できない場合がございます。
図面をご持参頂くと、このような行き違いを未然に防ぐことができます。

●事前にご相談内容をまとめておくと、スムーズです。

ホームページやカタログなどで、ご覧になりたい商品や確認したい不安なことなどを
まとめておいて頂くと、アドバイザーとのご相談がスムーズに進みます。

GREEN REMODEL
TOTO DAIKEN YKK AP

札幌、新宿、金沢、名古屋、大阪、広島、高松、福岡は
TOTO・DAIKEN・YKK AP の
コラボレーションショールーム

ショールームの情報は変更となる場合がありますのであらかじめご確認ください。

DAIKENショールーム　検索　＼カチッ／

https://www.daiken.jp/sr/

左記のQRコードより、
スマートフォンで
各種情報が受け取れます。

DAIKEN 営業所

お取引に係わる製品のお問い合わせは、下記の大建工業 営業所へお願いします。

■北海道支店
TEL (011)207-5330
FAX (011)207-5900

■東北支店
TEL (022)762-8980
FAX (022)762-8391

■首都圏第1支店
TEL (03)6271-7731
FAX (03)5296-4061

■首都圏第2支店
TEL (048)669-0660
FAX (048)669-0663

■首都圏住設支店
TEL (03)6271-7761
FAX (03)5296-4062

■北陸支店
TEL (076)255-3218
FAX (076)255-3441

■信越支店
TEL (026)267-5601
FAX (026)224-3115

■中京支店
TEL (052)205-5811
FAX (052)205-5805

■近畿支店
TEL (06)6205-7099
FAX (06)6205-7080

■中国支店
TEL (082)505-2525
FAX (082)505-2526

■四国支店
TEL (087)866-6260
FAX (087)866-8828

■九州支店
TEL (092)235-0123
FAX (092)235-0120

1 札幌ショールーム

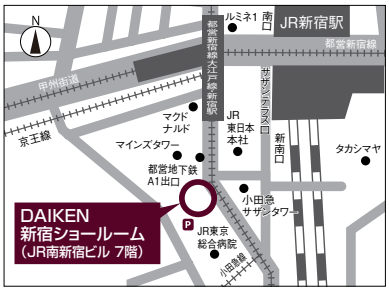
〒060-0033
札幌市中央区北3条東4丁目1番地10
TEL.(011)207-4440　FAX.(011)207-4448

開館時間：10:00～17:00　駐車場有り
休 館 日：水曜日・夏期・年末年始
※水曜日が祝祭日の場合は、開館致します。

2 仙台ショールーム

〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡3-4-1
アゼリアヒルズ1F
TEL.(022)742-5610　FAX.(022)762-8393
開館時間：10:00～17:00　駐車場有り
休 館 日：水曜日・夏期・年末年始

3 新宿ショールーム



〒151-0053
東京都渋谷区代々木二丁目1番5号
JR南新宿ビル7F-8F
TEL.(03)5358-4515　FAX.(03)5358-4511
開館時間：10:00～17:00
休 館 日：水曜日・夏期・年末年始
※水曜日が祝祭日の場合は、開館致します。

4 名古屋ショールーム

〒450-6413
名古屋市中村区名駅3丁目28-12
大名古屋ビルヂング13F
TEL.(052)582-5700　FAX.(052)582-5711
開館時間：10:00～17:00
休 館 日：水曜日・夏期・年末年始
※水曜日が祝祭日の場合は、開館致します。

5 金沢ショールーム

〒920-8201
石川県金沢市鞍月東2丁目11番地
TEL.(076)254-5882　FAX.(076)254-6550

開館時間：10:00～17:00　駐車場有り
休 館 日：水曜日・夏期・年末年始
※水曜日が祝祭日の場合は、開館致します。

6 大阪ショールーム

〒530-0017
大阪市北区角田町8番1号
梅田阪急ビルオフィスタワー20F
TEL.(06)6367-3950　FAX.(06)6367-3939
開館時間：10:00～17:00
休 館 日：水曜日・夏期・年末年始
※水曜日が祝祭日の場合は、開館致します。

7 広島ショールーム

〒734-0014
広島市南区宇品西4-1-36
TEL.(082)505-1540　FAX.(082)505-1541

開館時間：10:00～17:00　駐車場有り
休 館 日：水曜日・夏期・年末年始
※水曜日が祝祭日の場合は、開館致します。

8 高松ショールーム

〒761-0301
香川県高松市林町2547-3
TEL.(087)869-7811　FAX.(087)869-7812

開館時間：10:00～17:00　駐車場有り
休 館 日：水曜日・夏期・年末年始
※水曜日が祝祭日の場合は、開館致します。

9 福岡ショールーム

〒812-0018
福岡市博多区住吉1-2-25
キャナルシティ・ビジネスセンタービル3F
TEL.(092)235-0111　FAX.(092)235-0110
開館時間：10:00～17:00
休 館 日：水曜日・夏期・年末年始
※水曜日が祝祭日の場合は、開館致します。

機能建築営業部	特需建築営業部	リテール営業部	エコ営業部
東京 TEL (03)6271-7753 FAX (03)5296-4060	東京 TEL (03)6271-7765 FAX (03)5296-4060	東京 TEL (03)6271-7755 FAX (03)5296-4043	東京 TEL (03)6271-7766 FAX (03)5296-4063
大阪 TEL (06)6205-7277 FAX (06)6205-7087	大阪 TEL (06)6205-7274 FAX (06)6205-7086	大阪 TEL (06)6205-7259 FAX (06)6205-7084	大阪 TEL (06)6205-7272 FAX (06)6205-7085

お客様へのお願い　製品のお取扱い・修理・工事などについては、初めに工事をされた工事店様、販売店様へご相談ください。

製品全般に関するお問い合わせは

お客様センター

0120-787-505

受付時間：平日 9:00 ～ 17:00
（土・日・祝日・年末年始・夏期休暇は休みとなります。）

よくあるご質問、施工・取扱説明書情報、カタログのご請求・閲覧などは
お客様サポートからもご確認いただけます。

DAIKEN　お客様サポート　検索　（カチッ）

https://www.daiken.jp/support/

防音・音響仕様（楽器練習室・ホームシアターなど）のお問い合わせは

サウンドセンター

東 京 TEL(03)6271-7785
大 阪 TEL(06)6205-7245

受付時間：平日 10:00 ～ 17:00
（土・日・祝日・年末年始・夏期休暇は休みとなります。）

交換部品・メンテナンス用品のご購入は

DAIKEN パーツショップ

DAIKENパーツショップ　検索　（カチッ）

https://www.daiken.jp/service/

環境測定に関するご相談は

「ホルムアルデヒド・VOC 測定」「防音性能測定」
「アスベスト（石綿）分析」のご依頼は

環境測定・商品試験センター

岡 山 TEL(086)262-1427
FAX(086)262-1428

受付時間：平日 9:00 ～ 17:00
（土・日・祝日・年末年始・夏期休暇は休みとなります。）

ユーザー登録サービス

商品を末永く安全に使用していただくために、
ユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録はこちらから（無料）

DAIKEN　ユーザー登録　検索　（カチッ）

https://www.daiken.jp/user/

ユーザー登録いただいた方には
パーツショップ製品 10%割引の特典付
ご登録いただくと、DAIKEN パーツショップ取扱製品を
通常価格から 10%割引での特別価格でご購入いただけます。

*ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、ご利用させていただきます。

安全に関するご注意　製品を安全にお使いいただくために、設計・施工・使用にあたっては、下記の点をお守りください。

(1)製品の検討・設計にあたっては…
- ●このカタログに掲載の製品には、使用用途・場所などを限定するものがあります。
  製品の検討時には、必ず用途をご確認の上、誤採用がないように注意してください。
- ●設計時には、別冊の「設計・施工資料」をよく読み、注意事項をお守りください。

(2)施工にあたっては…
- ●「施工説明書」をよく読み、正しく施工してください。
- ●施工を必要とする製品は、必ず専門の施工業者様にご依頼ください。
  ※施工とは製品の組立て、建築物への固定、および電気工事等を含みます。

(3)使用にあたっては…
- ●取扱いに注意が必要なものには、「取扱説明書」（または「使用説明書」）がついています。
  ご使用の前によく読み、使用上の注意をお守りください。

※工務店様へお願い
「取扱説明書」（または「使用説明書」）がついている場合には、製品の施工完了後、引き渡し時に、必ずお施主様にお手渡しください。

業務用　**※価格・仕様は2018年6月21日現在。**

掲載価格はメーカー希望小売価格で、消費税及び組み立て・施工費は含まれておりません。

■本文記載の表示価格には、消費税は含まれておりません。
■価格・仕様他、当カタログの内容等は予告なく改訂する場合があります。
■写真は実際の色・材質感とは多少違う場合があります。

大建工業株式会社
本　　社　〒530-8210
大阪市北区中之島3丁目2番4号（中之島フェスティバルタワー・ウエスト14F）

©DAIKEN CORPORATION　2018.06
本書に収録したものはすべて当社に著作権の存するものですから、無断の複製はかたくお断りします。

DK55014

発行　2018年6月
[550-14] 第1刷　MK2018.06 TA/SI (P3.1-02.5)